平　成　２　９　年　度

島　原　市　の　教　育



「しまばら体操」お披露目（島原市民体育祭）

島　原　市　教　育　委　員　会



市章の由来

市制施行を記念して懸賞募集により、昭和１５年４月１日に制定されました。「島原市は山を負い、海に臨む風光明眉の地にして、４個のマを配して“シマ”を表し、円満な市政と市民の協和」を象徴したものです。

市民憲章

美しい自然と　ゆたかな風土に
はぐくまれた　このしあわせを大切に
さらに住みよい郷土をつくるため
私たち島原市民は

一　**自然を愛し　きれいな街づくりに**
　　つとめましょう。

一　**お互いに助け合い　明るい社会を**
　　築きましょう。

一　**教養ゆたかに　文化を高め**
　　ましょう。

一　**きまりを守り　よい風習を育て**
　　ましょう。

一　**健康で働き　楽しい家庭を**
　　つくりましょう。

（昭和四十九年二月七日制定）

島原市民の歌

作詞　宮﨑康平
作曲　古関裕而

一、雲がながれて　夢をよぶ
島原城（おしろ）の天守閣（やね）から　あの雲仙岳（みね）こえて
よろこびも　かなしみも
飛んでくる　飛んでくる

春夏秋冬　島原（ふるさと）の
青い空には　幸せばかり

二、白い朱欒（ざぼん）の　花びらを
泛（うか）べて香る　森の泉に
よろこびも　かなしみも
湧いてくる　湧いてくる

春夏秋冬　島原（ふるさと）の
澄んだ水には　まごころばかり

三、光る海から　愛のしるしに
こころの生命（かて）に　島原（ふるさと）の水を
あの島こえて　そよ風が
よろこびも　市民（みんな）の胸に
吹いてくる　かなしみも
春夏秋冬　吹いてくる
薫る風には　ふるさとの
歌いましょう　思い出ばかり
いつも微笑（わら）って　島原（ふるさと）の風に
みんな元気で

もくじ

１　教育委員会

教育委員会 ……１
教育方針 ……２
島原教育振興基本計画 ……３
教育諸条件の整備目標 ……４
学校教育の目標 ……６
社会教育の目標 ……１０
スポーツ推進の目標 ……１３
市勢のあらまし ……１６
平成２８年度島原市一般会計歳出
当初予算における目的別経費の割合 ……１７
教育行政と分掌事務 ……１８
教育委員会の職員数 ……１９

２　統計調査

年度別児童生徒数の状況 ……２０
島原市内の各学校一覧表 ……２１
・小学校 ……２１
・中学校 ……２１
・高等学校 ……２１
・各種学校・専修学校 ……２２
・特別支援学校 ……２２
・幼稚園 ……２２
・認定こども園 ……２２
平成２８年度高等学校進学状況 ……２３
平成２８年度就職先の状況 ……２３
各年度別中学校卒業者・進学者・進学率
一覧表 ……２４
各年度別中学校卒業者の進路状況 ……２５

３　学校施設

各小・中学校の建物及び校地の
保有面積 ……２６

４　奨学金

貸与型奨学金 ……２７
ふるさとにもどってこんね奨学金 ……２８

５　学校教育

【１】　学校の教育目標及び研究主題 ……２９
【２】　島原市適応指導教室 ……３３
【３】　学校給食 ……３５

６　学校体育

【１】　目標……３７
【２】　中学校部活動実施状況 ……３８

７　学校保健

【１】　目標……３９

８　社会教育

【１】　社会教育関係団体 ……４０
（１）婦人会……４０
（２）青年団……４０
（３）青少年健全育成協議会……４０
（４）ＰＴＡ……４１
（５）子ども会……４１
（６）高齢者団体……４１
【２】　公民館活動……４２
（１）各地区公民館の概要 ……４２
（２）公民館活動の目標 ……４２
（３）公民館運営計画 ……４２
【３】　公民館利用状況 ……４５
【４】　生涯学習推進……４５
（１）各公民館が開設する各種学級・講座・４５
（２）社会教育課が主催する各種講座 ……４６
（３）青少年教育 ……４６
（４）子育て支援 ……４６
（資料）社会教育委員、各種学級・学習計画・４８
【５】　文化財・文化事業 ……５１
（１）文化財……５１
（２）文化事業……５６
【６】　図書館……５７
【７】　文化会館……６０
【８】　島原市少年センター ……６２

９　スポーツ

【１】　目標……６５
【２】　島原市体育施設利用状況 …… ６７
【３】　島原市スポーツ少年団 ……６７

１０（一財）島原市教育文化振興事業団……６８

1　教 育 委 員 会

◎　島原市の教育長及び教育委員（平成２９年７月１３日現在）

職　名	氏　名	年齢	就任年月日	任　期
教　育　長	森本　和孝	61	平成 29.7.13	平成 29.7.13 ～ 平成 32.7.12
職務代理者	松本　正弘	70	平成 19.4. 1	平成 27.4. 1 ～ 平成 31.3.31
委　　員	森　みずき	46	平成 25.7.12	平成 29.7.13 ～ 平成 33.7.12
委　　員	本多　直行	64	平成 26.7. 1	平成 26.7. 1 ～ 平成 30.6.30
委　　員	立花　博	64	平成 29.4. 1	平成 29.4. 1 ～ 平成 33.3.31

◎　島原市の歴代教育委員（教育委員会発足　昭和２７年１１月１日）

岩本　一男	生駒　大五郎	本田　昌弘	北田　久	佐藤　利宗
大場　二虎	樋口　正規	酒井　満盛	奥村　雄紀	清水　充枝
小西　弘恵	田浦　英雄	北條　成之	長池　要七	井上　莞爾
宮崎　張夫	内田　利通	山本　蔦五郎	田浦　良朗	松島　利彦
片岡　二三子	平野　進	野村　義文	唐津　順子	宮原　照彦
吉田　実雄	宮﨑　嵩三	岩村　俊夫	本多　敏光	松本　正弘（現）
大町　一郎左衛門	吉田　良一	日向　義隆	山﨑　幹子	森　みずき（現）
上田　徳蔵	松本　巖	荒木　至	小峰　忠與士	本多　直行（現）
林田　俊雄	鐘ヶ江　管一	宮崎　郁子	伊藤　官治	立花　博（現）
古賀　茂成	田近　孝	園田　秀利	宮﨑　金助	
桑土　三雄	平井　皎	犬塚　勝次郎	谷口　英夫	

◎　島原市の歴代教育長

氏　　名	任　　期
上田　徳蔵	昭和 27.10.5 ～ 昭和 31.9.30
生駒　大五郎	昭和 31.10.1 ～ 昭和 43.9.30
松本　巖	昭和 43.10.1 ～ 昭和 47.3.31
平井　皎	昭和 47. 4.3 ～ 昭和 59.9.30
園田　秀利	昭和 59.10.2 ～ 平成 4.9.30
職務代理者（高野　博）	平成 4.10.1 ～ 平成 5.3.31
北田　久	平成 5. 4.1 ～ 平成 10.6.30
小峰　忠與士	平成 10. 7.1 ～ 平成 14.6.30
谷口　英夫	平成 14. 7.1 ～ 平成 17.1.31
職務代理者（坂本　正博）	平成 17. 2.1 ～ 平成 17.3.31
宮﨑　金助	平成 17. 4.1 ～ 平成 21.3.31
清水　充枝	平成 21. 4.1 ～ 平成 25.7.10
宮原　照彦	平成 25. 7.12 ～ 平成 29.7.11
職務代理者（松本　正弘）	平成 29. 7.12 ～ 平成 29.7.12
森本　和孝	平成 29. 7.13 ～

島　原　市　教　育　方　針

島原市の教育は、先人が築いた郷土の伝統と文化を継承し、人間尊重の精神と自然に対する畏敬の念を重んじ、社会の変化に対応し世界の平和に貢献できる調和のとれた市民の育成をめざす。

そのためには、噴火災害復興の体験から学んだ「生命（いのち）・きずな・感謝の心」の精神を引き継ぎ、郷土に誇りをもち、国を愛する心を育てるとともに、心豊かでたくましく生きる子どもたちの育成を図る。

学校、家庭、地域はそれぞれの役割を認識し、一体となって地域の教育力の向上に努め、生涯を通じて学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わるものは、その責任と使命を自覚し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身に付け、本市教育の充実と発展に努めなければならない。

島　原　市　教　育　努　力　目　標

○確かな学力を身に付け、豊かな心の育成を図る学校教育の推進

○たくましく生きるための健やかな体を育成する学校体育の推進

○子どもから大人まで共に学び合う生涯学習の推進

○たくましい青少年の育成をめざす地域ぐるみの子育ての推進

○伝統と文化を重んじ、郷土や国を愛する心を育てる教育の振興

◎　島原市教育振興基本計画

１　第２期島原市教育振興基本計画（平成２９年度～平成３３年度）

平成２３年度に策定した第１期の島原市教育振興基本計画の成果と課題や今日の教育を取り巻く社会の動向などを踏まえるとともに、国や県の第２期教育振興基本計画を参酌し、平成２７年度に策定された島原市教育大綱及び第６次島原市市勢振興計画（平成２７年度中間見直し後）との整合性を保ちながら、平成２９年度から今後５年の取り組むべき施策を示した、第２期の島原市教育振興基本計画を平成２９年２月に策定した。



２　島原市の教育施策（第２期島原市教育振興基本計画抜粋）

松平島原藩の初代藩主忠房は、ことのほか学問を奨励し「文武両道こそは藩の基盤である」と自ら講書を開きました。その好学の遺風は後世にも引き継がれ、寛政４年（１７９２年）に発生した未曾有の大災害である島原大変を体験した当時の人々は、早急な復興や将来の国づくりには人材育成こそが急務という思いから、翌年に藩校「稽古館」をいち早く開校し藩士の教育を行いました。島原地方はこうした教育の歴史を有しています。

教育は、郷土や国の将来を左右する最優先の政策課題の一つであります。そのためには、郷土の発展を担う誇りと責任を自覚し、国際社会でも活躍できる心豊かでたくましく生き抜く力を身に付けた人材を育成していくことが大事です。

平成３年の噴火災害から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を引き継ぎ、学校・家庭・地域それぞれの教育力を結集して、心豊かで活力ある生涯学習社会の構築と広い視野に立った施策の推進に努めます。

（１）生き抜く力を育む人づくり
（２）強い絆と豊かな心で結ばれた地域づくり
（３）スポーツを通じた人づくり・地域づくり
（４）安全で安心な教育環境づくり

◎ 教育諸条件の整備目標（安全で安心な教育環境づくり）

教育施設設備の整備については、小・中学校施設の年次計画による改修や教材教具の充実等を継続的に実施するとともに、その他の教育関係施設についても改修整備等を行い、よりよい教育環境の充実に努める。

また、夢の実現に向けた修学支援の充実に努める

○　快適で豊かな教育関係施設の充実

・学校施設、社会教育施設及びスポーツ施設の整備・充実に努めます。

○　教育環境の充実

・教育環境設備の充実に努めます。

・情報教育環境設備の充実に努めます。

○　夢の実現に向けた修学支援の充実

・奨学金制度の適正な運営、推進に努めます。

・準要保護児童生徒援助事業の適正な実施に努めます。

教育総務課　事業計画

月	日	事　　業	備　考
4	3	辞令交付（事務局）	
	２０	第１回長崎県都市教育長協議会（年４回開催）	長崎市
	２１	市町村教育委員会連絡協議会合同理事会 県・市町教育委員会合同会議 県・市町教育委員会スクラムミーティング（随時開催）	長崎市
	１３	学校配当予算に係る説明会	
		定例教育委員会（毎月１回）	
		総合教育会議（年に数回）	
		島原市奨学生募集（６月まで）	
		準要保護児童生徒認定（毎月）	
		公立文教施設台帳審査	
5	１５	教育基本調査	
	１８ １９	全国都市教育長協議会定例総会・研究大会	奈良市

月	日	事　　業	備　考
5	２２	学校基本調査	
	２３	市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会	大村市
7	１８ １９	第２回長崎県都市教育長協議会	西海市
	下旬	「島原市の教育」（教育要覧）作成	
		地方教育費調査	
8	１	ふるさとにもどってこんね奨学生審議委員会	
	１	島原市奨学生審議委員会	
	３ ４	九州地区市町村教育委員会連合会研修大会	宮崎市
	中旬	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況にかかる点検及び評価報告書の提出	
１０	１１ １２	九州都市教育長協議会定例総会・研究大会	熊本県八代市
	下旬	学校配当予算編成	
		新年度予算要求作成	
１１	１３ １４	第３回長崎県都市教育長協議会	松浦市
	１６	県市町村教育委員会連絡協議会「新任教育委員研修会」	対馬市
	１７	県市町村教育委員会連絡協議会「市町村教育委員会研究大会」	対馬市
	中旬	島原市教育委員会表彰式	
１２	上旬	次年度準要保護児童生徒申請手続き	
1	下旬	新年度教育予算にかかる市長への要望	
2	８ 9	第４回長崎県都市教育長協議会	南島原市
	下旬	県下都市庶務担当課長会議	西海市
		次年度島原市教育委員会事業計画の策定	
		島原市奨学生募集（６月まで）	

◎　学校教育の目標（生き抜く力を育む人づくり）

学校教育においては、「生命（いのち）・きずな・感謝の心」の育成を基盤に据え、生涯学習の基礎を培うという認識に立ち、自ら学ぶ意欲をもち、社会の急激な変化に主体的に対応できる、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成をめざす。

○　確かな学力の育成
- 一人ひとりに応じた教育を推進します。
- 学力調査の分析結果、学習規律の確立、アクティブ・ラーニングの視点等を生かした授業改善に努めます。
- 家庭学習や基本的生活習慣を見直し、「子どもの学びの習慣化」の確立に努めます。
- 外国語教育の充実に努めます。

○　豊かな心の育成
- 道徳教育の要である「特別の教科道徳」の授業の充実に努めます。
- 生命の教育に努めます。
- 読書活動や文化・芸術教育の充実に努めます。
- 生徒指導の充実に努めます。

○　健やかな体の育成
- 学校体育の充実に努めます。
- 健康教育の充実に努めます。
- 食に関する指導の充実に努めます。

○　教職員の資質向上
- 教師の授業力の向上に努めます。
- 教職員研修の充実に努めます。
- 校種間連携の充実に努めます。

○　地域との連携
- 地域の教育力を生かした学習を推進します。
- 信頼される学校づくりを推進します。

学校教育課　事業計画

月	日	事　　業	備　考
毎月		定例校長会	
		定例教頭会	
		教務主任研修会	
		養護教諭部会	
		学校給食献立案作成会	
		就学相談（随時）	
4	3	教職員辞令交付式	有明総合文化会館
	4	新規採用教職員服務宣誓式	有明公民館
	5	非常勤職員任命状交付式（学教関係）	有明総合文化会館
	7	小・中学校入学式	
	１４	第１回島原・雲仙・南島原地区初任者研修実施運営委員会	南島原市
	１８	国・県・市学力調査	
	２４	初任者研修（第１回連絡研修）	
	２７	指導主事研修会（～２８日まで）	長崎市
5	１４	中学校体育大会（５校）	
	２１	小学校運動会（７校）	
	下旬	日本スポーツ振興センター災害共済給付加入手続	
		学校経営訪問（６月まで）	
6	１０	市中体連球技武道大会（１１日まで）	
	１９	初任者研修（望ましい学級経営）	
	１９	小中連携担当者会	杉谷公民館
	２２	市中体連陸上大会	市営陸上競技場
		島原市小・中学校合同科学作品展事前打ち合わせ会	
7	3	初任者研修（生徒指導）	

月	日	事　　業	備　考
7	3	平成２８年度学校給食費監査	有明給食センター
	7	第１回島原市学校事務共同実施連絡協議会	有明公民館
	１０	島原市学力調査結果分析及び問題データベース活用研修会	杉谷公民館
	１１	学校プール監視員講習会	島原消防署
	２１	中学生海外訪問交流事業出発式	森岳公民館
	２２	県中総体（２４日まで）	
	２４	教職員胃検診	
	２５	中学生海外訪問交流事業（２９日まで）	香港
	３１	島原・雲仙・南島原地区中堅教諭等資質向上研修会	有明公民館
	３１	教職員胃検診	
8	2	豊後高田市・島原市兄弟校児童会交流事業（４日まで）	
	4	初任者研修（異業種職場体験研修）	
	7	特別支援コーディネーター研修会	杉谷公民館
	１８	島原市就学相談（２２日・２４日）	有明公民館
	２１	教育講演会	有明総合文化会館
	２２	初任者研修（情報教育研修）	
	２３	親子粘土教室	サブアリーナ
	２５	中学生海外訪問交流事業報告会	有明公民館
	２８	初任者研修（ジオパークに関する研修）	杉谷公民館
	２９	教職員胃検診	
	２８	島原市小学校外国語活動研修会	有明公民館
	３０	教職員胃検診	
9	9	第６７回小・中学校科学作品展（１０日まで）	島原文化会館
	２４	小学校運動会（２校）	
１０	4	市小学校体育大会（予備日６日）	市営陸上競技場

月	日	事　　業	備　考
１０	５	市中体連駅伝大会	復興アリーナ周回
	１６	初任者研修（文化施設見学研修）	
	２３	先進地視察（２５日まで）	秋田県東成瀬村
	２８	第３９回北村西望賞教育美術展（１１月１日まで）	島原文化会館
	３０	初任者研修（授業研修）	
		学校給食検討委員会	
		就学時健康診断（１１月まで）	
		学校巡回訪問（１１月まで）	
１１	上旬	心の相談員等連絡協議会	適応指導教室
	１３	初任者研修（特別支援教育に関する研修）	
	２７	初任者研修（食の指導に関する研修）	
	下旬	心身障害児就学指導委員会	
		幼・保・小、中・高交流研修	
１	１５	初任者研修（第２回連絡研修）	
	２３	島原・雲仙・南島原地区中堅教諭等資質向上研修会（研究発表会）	有明公民館
	中旬	心身障害児就学指導委員会	
	下旬	ふれあい給食	
２	１３	第２回島原・雲仙・南島原地区初任者研修実施運営委員会 中堅教諭等資質向上研修実施運営委員会	有明公民館
	下旬	第２回島原市学校事務共同実施連絡協議会	
３	３０	小・中学校教職員退職者辞令交付式	

◎　社会教育の目標（強い絆と豊かな心で結ばれた地域づくり）

社会の急速な変化に伴い、少子・高齢化、高度情報化、国際化等、現代的な課題が山積している。教育の分野においても、多様化する人々の学習要求や地域ぐるみの子育てへの対応が求められており、市民一人一人が希望と夢を持てる２１世紀の「まちづくり・人づくり」を目指して、本市の歴史と文化を生かし、「大人と子どもが学び合う、心豊かな生涯学習社会」を創造する。

○　「島原市ココロねっこ運動」の推進
・学校・家庭・地域が連携・協力して地域全体で子どもを育みます。
・子どもの生き抜く力の基礎となる家庭教育の充実を図り、子育てを支援します。
・子どもが安全で安心して活動ができる居場所づくりに努めます。

○　公民館活動の推進や社会教育関係団体の活動支援と地域の絆づくりの推進
・公民館を拠点として、いつでもどこでも誰でも学べる環境づくりを推進します。
・社会教育関係団体の育成を図り、地域に根差した活動を支援します。

○　文化活動の推進と文化の向上
・文化団体の自主運営を支援します。
・優れた舞台芸術に接する機会を提供するため、自主文化事業の実施に努めます。

○　図書館活動の推進
・図書資料の充実、司書業務の充実、利便性の向上を図ります。
・子どもの読書活動を推進します。

○　歴史的遺産の保護をとおした郷土を愛する心の育成
・旧島原藩薬園跡、肥前島原松平文庫、島原城跡をはじめとする文化財の保護に努めます。
・民俗芸能団体が行う伝統文化の継承活動を支援します。

社会教育課　事業計画

月	日	事　　業	備　考
4		朝のあいさつ運動（毎月１日）	
		「家庭の日」広報（毎月第３日曜日前の金曜日）	
		社会教育担当者会（毎月月初）	
		放課後子ども学習室（年間）	
	下旬	第１回社会教育委員の会	

月	日	事　　業	備　考
5	下旬	第１回少年センター補導委員会	
		第１回少年センター自転車指導	
		指定管理施設の魅力アップ懇話会	
		第１回島原図書館協議会	
		各種学級講座開講	
		各地区通学合宿（～７月）	
		肥前島原子ども狂言開講（～３月）	島原文化会館
6	中旬	第２回社会教育委員の会	
		第１回公民館運営審議会	
	２５	長崎県少年センター補導委員連絡協議会研修会	
7	上旬	第１回少年センター運営協議会	
		公募型自主事業選定委員会	
	中旬	第１回少年センター立入調査	
	下旬	スクールキッズ（～８月）	
9	中旬	第３回社会教育委員の会	
１０	上旬	第１回文化財保護審議会	
	4～9	第５７回島原市美術展	島原文化会館
１１	5・11・12	第３８回島原市民音楽祭（小中学生の部、洋楽の部、邦楽の部）	島原文化会館
	中旬	第２回少年センター立入調査	
	下旬	第４回社会教育委員の会	
		自主文化事業「草野仁トークショー」	
		各地区公民館まつり（～２月）	
１２	上旬	第２回少年センター自転車指導	
1	3	平成３０年島原市成人式	島原文化会館

月	日	事　　業	備　考
1		第２回島原図書館協議会	
2	中旬	第６９回島原梅林俳句会	森岳公民館
	下旬	第５回社会教育委員の会	
		第２回少年センター補導委員会	
3	上旬	自主文化事業「未来の音楽授業！　アキラ塾」	島原文化会館
	中旬	第３６回島原半島文化賞授賞式	
		第２回公民館運営審議会	
		第２回少年センター運営協議会	
		第２回文化財保護審議会	
		各種学級講座閉講	

◎　スポーツ推進の目標（スポーツを通じた人づくり・地域づくり）

市民一人一人が、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を営むため、生涯をとおして、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめるような環境を整えスポーツの振興を図る。

また、生涯にわたる体育・スポーツ活動の基礎づくりとして、スポーツ少年団活動の一層の充実を図る。

さらに、関係機関並びに競技団体と連携しながら、スポーツ人口の拡大と競技力の向上及び指導者の育成を図る。

○　ライフステージに応じた生涯スポーツの充実
- 子どもから高齢者までスポーツの絆を広げるため、総合型スポーツクラブの充実に努めます。
- スポーツ活動の提供・充実に努めます。

○　夢を育むジュニアスポーツの充実
- ジュニアスポーツの活性化に努めます。

○　スポーツを活用した地域活性化
- 全国・国際大会やスポーツ合宿等を誘致し、交流人口を拡大することで地域の活性化に努めます。

スポーツ課　事業計画

月	日	事　　業	備　考
4	１９	長崎県体育協会第１回生涯スポーツ委員会	県営野球場
	２３	第４２回島原市民親睦サッカー大会	平成町多目的広場
	２８	島原市スポーツ推進委員協議会総会	
5	１０	生涯スポーツ担当者会議	
	１０	長崎県スポーツ少年団事務担当者会	県営野球場
	１７	島原市体育協会理事会・評議委員会総会	
	２３	県スポーツ推進委員協議会理事会	
	３１	長崎県体育協会理事会・評議委員会総会	
6	４	第１４回長崎県スポーツ少年団ソフトボール交流大会島原市予選会	

月	日	事　　業	備　考
6	8	島原市スポーツ少年団指導者協議会役員会	森岳公民館
	１５	市体力テスト	島原復興アリーナ
	１６	島原市スポーツ少年団指導者協議会総会	もとよし
7	１３	島原学生駅伝実行委員会	有明公民館
	２１	市民体育祭実行委員会	島原復興アリーナ
	２３	第８回島原市民親睦ソフトバレーボール大会	霊丘公園体育館・弓道場
	２５	島原市ジュニアスポーツ振興事業（小・中学生派遣事業）（～２８日）	日本体育大学
	中旬	島原市体育協会理事会	
8	１１	Ｖ・ファーレン長崎自治体支援会議	
	１８	第３０回市長杯少年少女サッカーフェスティバル（～２０日）	平成町多目的広場他
	２８	平成新山　島原学生駅伝実施委員会	有明公民館
9	中旬	長崎県体育協会生涯スポーツ委員会	県営野球場
		県民体育大会実行委員会	県営野球場
	下旬	国民体育大会島原市選手団壮行式	
１０	1	市民体育祭各種競技会	市内各会場
	8	市民体育祭大運動会	市営陸上競技場
	中旬	長崎県体育主管課長会議	
		ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」	各小学校
	下旬	市体育協会理事会（表彰審査会）	
１１	１１	第６８回長崎県民体育大会（～１２日）	県内各会場
	１５	島原市体育協会表彰式	
	２２	福知山マラソン（～２４日）	福知山市
	中旬	ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」	各小学校
１２	1	平成新山　島原学生駅伝開会式	島原文化会館
	2	平成新山　島原学生駅伝	市営陸上競技場
	2	第１５回島原市スポーツ少年団対抗駅伝大会	市営陸上競技場
	9	第１８回島原市少年ソフトボール大会（市教委杯）	有明の森運動場

月	日	事　　業	備　考
１２	１０	第３７回島原市民親睦テニス大会	市総合運動公園庭球場
1	２１	第１２回島原半島地区対抗駅伝競走大会	雲仙市・南島原市
	２６	第６７回郡市対抗県下一周駅伝大会（～２８日）	市役所前再スタート
	中旬	ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」	各小学校
		長崎県市町村社会体育担当者会	
2	１８	第４１回島原市民親睦バドミントン大会	島原復興アリーナ
	２５	第４８回島原市民親睦卓球大会	島原復興アリーナ
	上旬	長崎県体育協会生涯スポーツ委員会	県営野球場
		島原市スポーツ少年団送別大会（バレーボール）	
		第２回長崎県スポーツ少年団指導者協議会並びに事務担当者会	県営野球場
		島原市スポーツ指導者研修会	
	中旬	長崎県スポーツ表彰・長崎県教育委員長顕彰表彰式	
		九州地区スポーツ推進委員研究大会	
		島原市スポーツ推進委員役員会・評議員会	
3	上旬	第３７回有馬スポーツ賞表彰式	有馬武道館
		島原市スポーツ少年団送別大会（サッカー）	
	中旬	第５１回島原市民親睦ソフトボール大会	
	下旬	Ｖ・ファーレン長崎自治体支援会議	
		長崎県体育協会臨時評議員会	
		島原市スポーツ推進委員協議会及び功労者表彰受賞祝賀会	

◎ 市 勢 の あ ら ま し

島原市には、縄文・弥生の古代遺跡が多数あり、遥かな原始・古代からの歴史を有する。降って戦国時代には有馬氏の下、キリスト教の信仰が盛んになり、江戸時代に有馬氏転封の後、大和国五条から松倉重政が入封し、元和４年（西暦１６１８年）から７年の歳月を費やして島原城（別名森岳城）を築城、以後、島原半島の政治、経済、文化の中心的役割を果たしてきた。寛永１４年（西暦１６３７年）には松倉勝家の苛政とキリシタン弾圧に対する「島原の乱」が起こり、一揆軍だけで３万８千人余の犠牲者を出す動乱となった。この後、高力氏が領内復興を図り、その後、松平氏が戸田氏と一時期交替するも明治まで島原を統治した。この間の寛政４年（西暦１７９２年）には雲仙普賢岳の噴火に伴う眉山の大崩壊が発生し、山崩れと津波により島原領内及び対岸の熊本・天草も合わせて約１万５千人の住民が犠牲になるという災害に見舞われた（島原大変)。

これら大きな動乱と地変を経て、明治４年（西暦１８７１年）の廃藩置県により、旧城下町は島原村、島原町、島原湊となり、大正１３年（西暦１９２４年）にはこの三者が合併して島原町となる。次いで、昭和１５年４月には安中・杉谷の両村を合併し、県下で３番目、全国では１５９番目の市制をしき、昭和３０年４月には隣村の三会村を編入した。

平成２年１１月に雲仙普賢岳が１９８年ぶりに噴火、平成３年５月以降、土石流・火砕流による災害が発生し、第四小学校、第五小学校及び第三中学校は仮設校舎での授業を余儀なくされた。平成８年６月には噴火活動の終息宣言を行い、また、噴火災害に伴う防災事業により、平成１０年１２月に杉谷公民館、平成１２年７月には第四小学校が移転・竣工した。

現在、第一小学校旧校舎、第三小学校旧校舎の改築をはじめとする小・中学校の躯体部分の耐震事業を平成２４年度で終了し、また、非構造部材耐震化事業についても、体育館は平成２７年度で終了し、平成２８年度からは校舎を順次計画的に進めている。

平成１８年１月には隣接する有明町を編入して新しい島原市となり、平成の大合併により、島原半島は雲仙市と南島原市を合わせた３つの市として新たにスタートした。また、３市において、火山活動によって生じた特徴的な自然景観及び地質（ジオ）を一体的な自然公園（パーク）とする「島原半島ジオパーク」の推進を図り、平成２１年８月には糸魚川・洞爺湖有珠山と共に日本で最初となる世界ジオパークの認定を受けた。平成２４年５月には、ジオパーク国際ユネスコ会議を本市で開催し、《火山と共生する島原半島》の自然や景観、歴史、文化など、他の地域にない素晴らしい魅力を発信し、更に、本市の教育活動においてもジオパークに関する学習に取り組んでおり、今後さらに地域振興への寄与が期待される。

◎ 市の面積

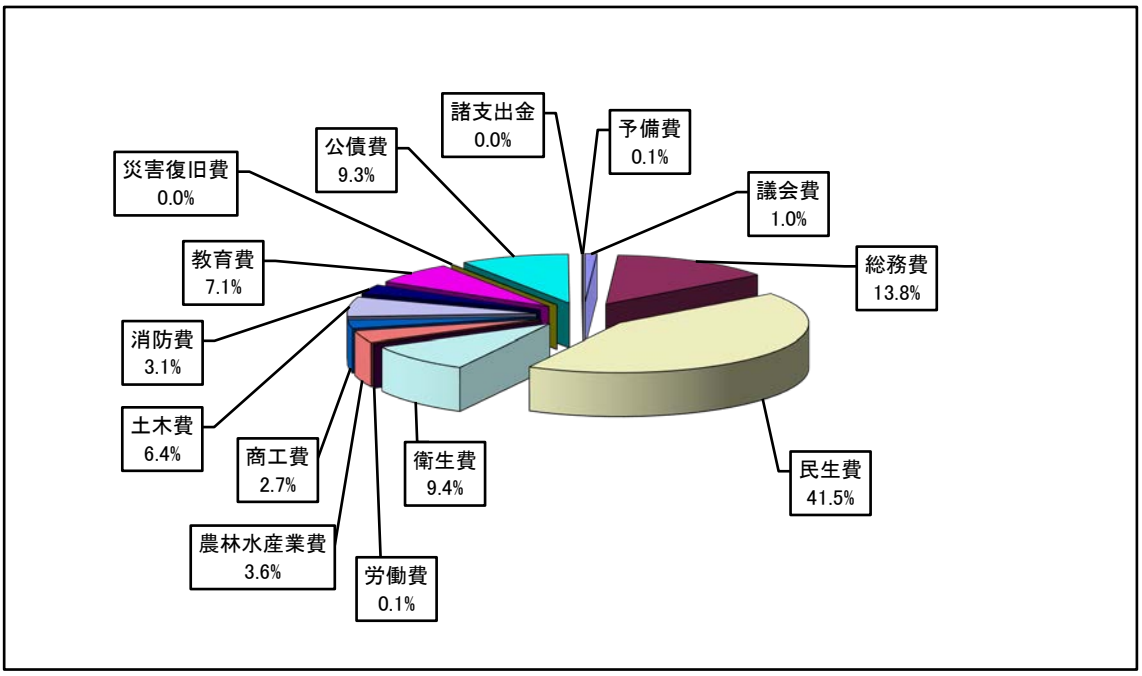
82.97K㎡

◎ 世帯数，人口　（平成２９年４月３０日現在）

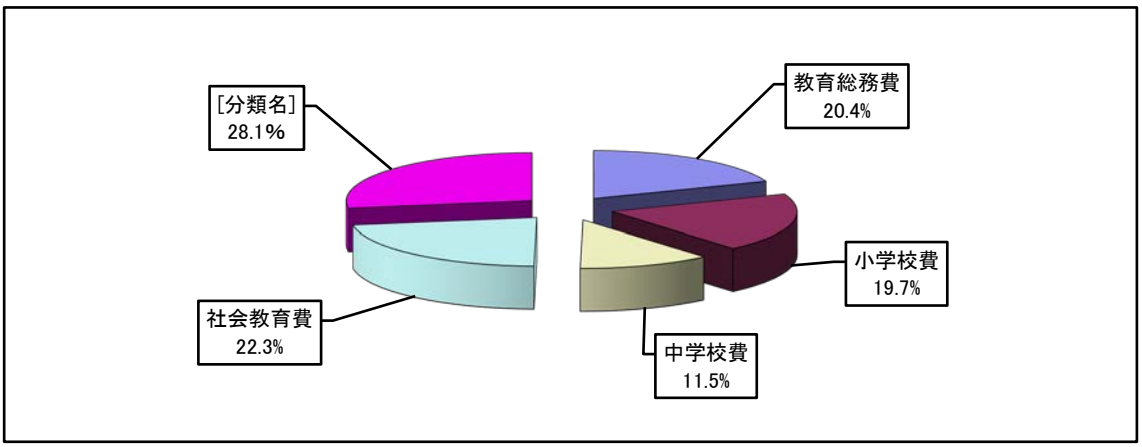
世帯数	人口			人口密度
	男	女	計	（人／k㎡）
19,657	21,449	24,625	46,074	555.3

【平成２９年度　島原市一般会計歳出当初予算における目的別経費の割合】

・一般会計歳出予算総額：219億9,800万0千円　うち、教育費予算：15億6,583万1千円



・教育費予算の目的別内訳



【教育行政と分掌事務】　（平成２９年４月１日現在）

- 教育委員会
- 教育長
- 教育次長

教育総務課

総務班	委員会の運営、事務局の運営及び総合調整、委員会規則・訓令・告示等の制定改廃、教育財産の取得・廃止等、奨学金、就学援助、調査統計、教育行政相談
施設整備班	教育施設の整備・管理、工事その他の契約

学校教育課

学事班	学校給食の事務、特別支援教育就学奨励費、北村西望賞基金、学齢簿、学級編制
指導班	学校経営管理、教職員の人事・指導・勤務評価・研修、学級編制、学齢簿の編製及び就学、教育課程・学習指導、研究校の指定・指導、道徳教育、生徒指導・進路指導、特別支援教育、人権教育、交流教育、外国語指導助手、学校給食の指導、教育評価、教科用図書の採択

小学校	１０（うち分校１）
中学校	５
学校給食調理場	５
適応指導教室	不登校児童生徒への指導・援助

社会教育課

生涯学習班	生涯学習推進体制の整備、社会教育施設の設置・管理・運営指導、公民館・少年センターの運営指導、青少年団体・婦人団体・ＰＴＡ等の育成、青少年の健全育成・家庭教育、成人青年教室・講座・講演会等の開催、社会同和教育
歴史・文化班	文化財・史跡の調査・保護・顕彰、芸術・文化の振興、文化団体の育成、文化会館の設置・管理運営指導

公民館	７
図書館	２
文化会館	２
資料館	２
少年センター	少年の補導・相談、少年問題の調査研究、関係機関との連絡・協力、少年の非行防止・保護育成

スポーツ課

こども スポーツ班	体育関係諸団体の育成、スポーツ安全保険、スポーツ少年団の指導、島原学生駅伝、スポーツ振興基金
生涯 スポーツ班	社会体育施設の設置・管理、社会体育の振興・計画・指導、体育・スポーツの調査統計、市民体育祭、スポーツ推進委員

陸上競技場	１
野球場	１
島原復興アリーナ	１
運動広場	６
体育館・弓道場	２
温水プール	２
庭球場	２
武道館	２
屋内相撲場	１
れいなん会館	１
人工芝グラウンド	１

【教育委員会の職員数(教育長・教育次長を除く)】

平成２９年４月１日現在

※（　）は非常勤職員等

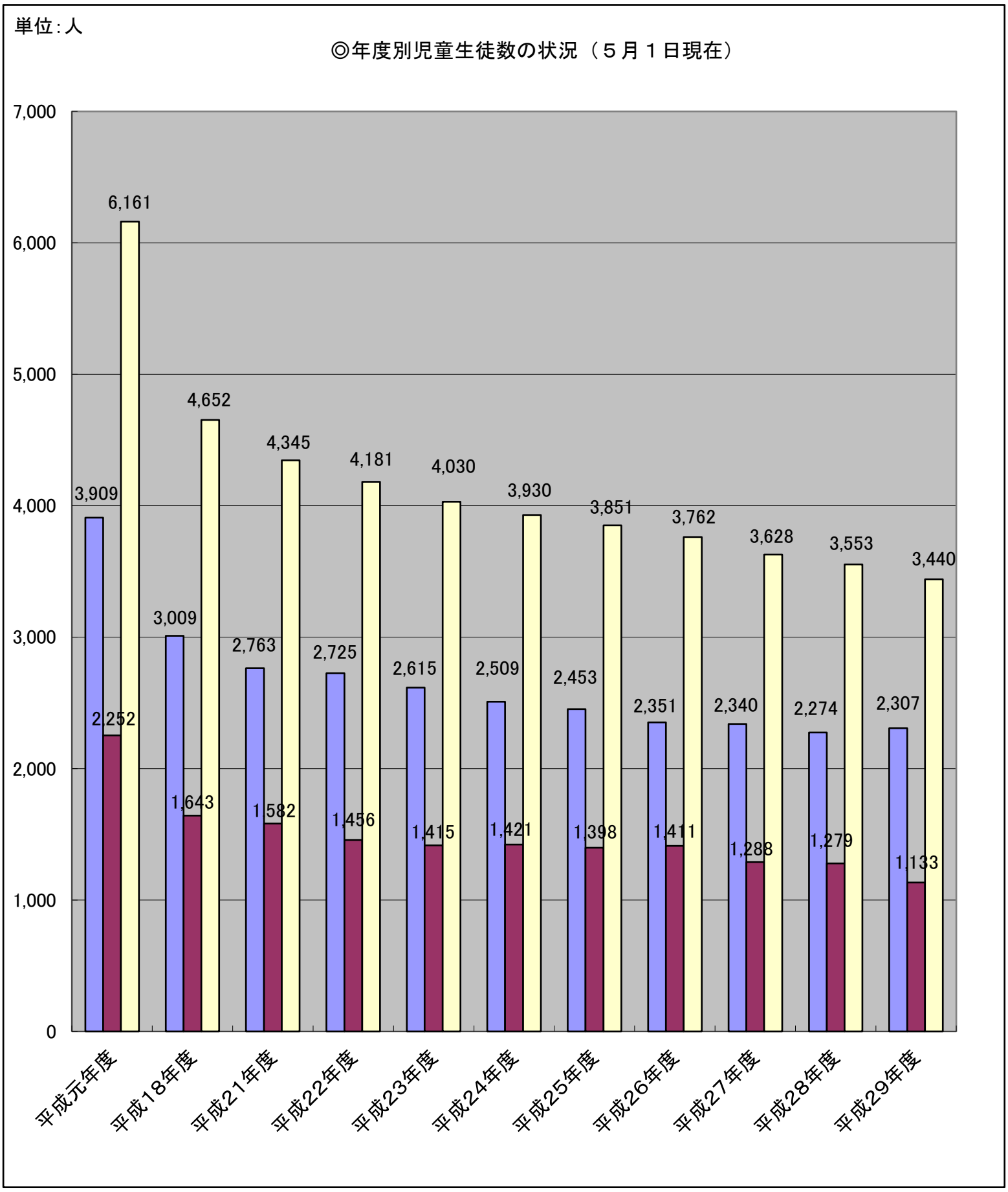
所属 / 職種別	教育総務課	学校教育課	社会教育課	スポーツ課	小学校	中学校	公民館	計
課　長	1	1	1	1				4
参　事		1						1
課長補佐		4	2				1	7
係　長	1			2			2	5
主　任	2		1				4	7
主　査	2	1	2	2				7
主　事								0
条件附職員								0
校務主事					1(9)	4(1)		5(10)
社会教育指導員			(2)					(2)
少年センター 指導監・相談員			(2)					(2)
松平文庫 管理員・技術員			(3)					(3)
有明給食センター		(2)						(2)
事務（技術）員	(3)						(7)	(10)
合　計	6(3)	7(2)	6(7)	5	1(9)	4(1)	7(7)	36(29)
内、指導主事、社会教育主事		6	1	1				8

２　統 計 調 査

◎年度別児童生徒数の状況（ ５ 月１ 日現在）

※平成18年1月に有明町と合併

	平成元年度	平成18年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	3,909	3,009	2,763	2,725	2,615	2,509	2,453	2,351	2,340	2,274	2,307
中学校	2,252	1,643	1,582	1,456	1,415	1,421	1,398	1,411	1,288	1,279	1,133
合計	6,161	4,652	4,345	4,181	4,030	3,930	3,851	3,762	3,628	3,553	3,440



◎島原市内の各学校一覧表（ 平成２９年5 月1 日現在）

市立小・中学校

○小 学 校 （１０）	校 長 名	教 頭 名	住 所 地	電 話	学級数	児童数	男 子	女 子	職員数
島原市立第一小学校	森﨑 純慈	松﨑 和之	島原市城内一丁目1129番地	63-0041	18	463	236	227	30
島原市立第二小学校	吉田 光利	松田 久幸	島原市萩が丘二丁目5688番地	63-0325	10	230	116	114	22
島原市立第三小学校	喜多 彰	早﨑 史洋	島原市広馬場町7758番地	63-0026	14	283	155	128	25
島原市立第四小学校	入江 靖宏	松尾 成晃	島原市宇土町乙670番地１	62-2410	10	203	105	98	18
島原市立第五小学校	永田 俊文	坂本 陽一	島原市大下町丙1049番地	62-2761	16	314	160	154	25
島原市立三会小学校	坂田 淑子	佐藤 良平	島原市中原町乙1462番地	62-3604	13	269	141	128	23
島原市立三会小学校長貫分校	〃	〃	島原市長貫町丙1902番地	62-3991	2	14	7	7	3
島原市立大三東小学校	濱崎 彰	野中 邦明	島原市有明町大三東丙582番地1	68-0030	12	232	127	105	19
島原市立高野小学校	中村 清法	宮本 勝也	島原市有明町大三東丁2133番地1	68-0034	7	73	39	34	13
島原市立湯江小学校	橋本 徳彦	久保田良司	島原市有明町湯江丙839番地	68-0504	11	226	108	118	20
合 計					113	2,307	1,194	1,113	198

○中 学 校 （５）	校 長 名	教 頭 名	住 所 地	電 話	学級数	生徒数	男 子	女 子	職員数
島原市立第一中学校	北田 義久	岩永 秀久	島原市城内一丁目1222番地	63-0376	12	355	196	159	25
島原市立第二中学校	北浦 幸三	上田 敏浩	島原市新山三丁目8916番地	63-0812	9	187	99	88	18
島原市立第三中学校	髙田 裕士	梅本澤泰江	島原市梅園町丁2898番地	62-4813	8	158	78	80	19
島原市立三会中学校	濱田 好和	平 由紀夫	島原市下宮町甲2511番地2	62-3709	3	110	58	52	13
島原市立有明中学校	八木 信也	佐々木則弘	島原市有明町大三東戊1535番地2	68-2115	11	323	163	158	25
合 計					43	1,133	594	537	100

（参考）市内の高等学校、専修学校、幼稚園等

○高等学校（6）

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	住 所 地	電 話	学級数	生徒数	男 子	女 子	職員数
長崎県立島原高等学校	渡邉 孝経	中田 克之 小川 由香	島原市城内二丁目1130番地	62-4155	18	709	349	360	53
長崎県立島原高等学校定時制	渡邉 孝経	吉田 英雄	島原市城内二丁目1130番地	62-4155	4	32	15	17	12
長崎県立島原農業高等学校	田坂 吉史	原口 三徳	島原市下折橋町4520番地	62-5125	12	420	164	256	52
長崎県立島原工業高等学校	辻 法行	古賀 徳文	島原市本光寺町4353番地	62-2768	10	384	366	18	50
長崎県立島原商業高等学校	山﨑 敦子	伊藤 俊信	島原市城内一丁目1213番地	62-4059	9	327	89	238	39
島原中央高等学校	森崎 和樹	竹村 伸二	島原市船泊町丁3415番地	62-2435	6	163	127	36	20
合 計					59	2,035	1,110	925	226

○各種学校・専修学校（2）

学　校　名	校長名	住　所　地	電　話	昼夜別	生徒数	男　子	女　子	職員数
島原市医師会看護学校	宮﨑　伸一郎	島原市萩原一丁目1230番地	65-0730	昼	124	31	93	79
Kokoro College Japan	坂本　清	島原市秩父が浦町丁2669番地22	65-5561	昼	49	27	22	8
合　計					173	58	115	87

○特別支援学校（1）

※南串山分教室を含む

学　校　名	校長名	教　頭　名	住　所　地	学科別課程別	電　話	学級数	児童・生徒数	男　子	女　子	職員数
長崎県立島原特別支援学校	穴山　司	村川　佳恵 山口　勇	島原市新田町562番地	小学部	64-4463	12	26	18	8	84
				中学部		9	29	21	8	
				高等部		12	69	49	20	
合　計						33	124	88	36	84

○幼稚園（2）

幼　稚　園　名	園長名	住　所　地	電　話	定　員	学級数	幼児数	男　子	女　子	職員数
島原活水幼稚園	芦田　雅理	島原市青葉町5436番地	63-2700	120	4	0	0	0	5
安中幼稚園	松井　勝俊	島原市大下町丙1159番地	62-3460	140	0	0	0	0	1
合　計				260	4	0	0	0	6

○認定こども園（5）

幼　稚　園　名	園長名	住　所　地	電　話	定　員	学級数	幼児数	男　子	女　子	職員数
島原幼稚園	吉岡今日子	島原市弁天町一丁目107番地	62-2955	160	7	104	51	53	14
有明幼稚園	小嶺　典子	島原市坂上町7528番地	62-2584	69	4	39	23	16	11
ひかわ第一幼稚園	伊藤　律子	島原市上新丁二丁目2576番地	62-4420	175	7	125	66	59	14
清華こども園	蒲池　房子	島原市有明町大三東甲2150番地	68-1163	80	3	34	18	16	14
勝光幼稚園	菊池　敬	島原市有明町大三東戊1480番地1	68-0466	45	3	20	9	11	6
合　計				529	24	322	167	155	59

◎平成２８年度高等学校進学状況（就職・進学者を含む）

平成27年3月 中学校卒業者	公立全日制						私立全日制						定時制・通信制・高専・特別支援					
	志願者数			進学者数			志願者数			進学者数			志願者数			進学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
県内	204	172	376	198	171	369	41	35	76	45	36	81	6	5	11	6	5	11
県外							3	6	9	3	6	9		2	2		2	2
合計	204	172	376	198	171	369	44	41	85	48	42	90	6	7	13	6	7	13

◎平成２８年度就職先の状況（就職・進学者を含む）

男女別	第一次産業		第二次産業		第三次産業		左記以外		計		
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	計
男			1						1		1
女											
計	0	0	1	0	0	0	0	0	1		1

◎　各年度別中学校卒業者・進学者・進学率一覧表（５月1日現在）

区分／年度	卒業者総数（A）			進学者総数（B）			志願者に対する合格率	島原市の進学率B／A
	男子	女子	合計	男子	女子	合計		
平成７年度	273	296	569	264	291	555	97.2%	97.5%
平成８年度	314	286	600	306	283	589	99.7%	98.2%
平成９年度	267	261	528	251	256	507	99.6%	96.0%
平成１０年度	254	267	521	245	265	510	98.8%	97.9%
平成１１年度	291	252	543	281	244	525	99.6%	96.7%
平成１２年度	237	240	477	230	236	466	98.3%	97.7%
平成１３年度	252	248	500	243	245	488	100.0%	97.6%
平成１４年度	232	235	467	221	228	449	99.6%	96.1%
平成１５年度	239	212	451	238	212	450	100.0%	99.8%
平成１６年度	238	208	446	235	208	443	100.0%	99.3%
平成１７年度	312	281	593	306	280	586	100.0%	98.8%
平成１８年度	310	256	566	306	256	562	100.0%	99.3%
平成１９年度	262	274	536	260	272	532	100.0%	99.3%
平成２０年度	280	261	541	278	260	538	99.8%	99.4%
平成２１年度	275	320	595	271	320	591	99.8%	99.3%
平成２２年度	244	250	494	244	250	494	100.0%	100.0%
平成２３年度	275	230	505	268	230	498	99.6%	98.6%
平成２４年度	236	227	463	232	225	457	100.0%	98.7%
平成２５年度	227	229	456	227	227	454	100.0%	99.6%
平成２６年度	250	252	502	242	249	491	99.0%	97.8%
平成２７年度	213	227	440	208	226	434	100.0%	98.6%
平成２８年度	254	222	476	251	221	472	99.6%	99.2%

◎各年度別中学校卒業者の進路状況（５月1 日現在）

区分 / 年度	性別	卒業者計	進学者総計 ①＋②＋③	高等学校 入学者①	高等専門学校 入学者②	専修・専門学校、公共職訓入学者③	就職者	就職・進学者（再掲）	無業者	死亡不詳
平成17年度	男子	312	306	304	2	0	6	0	0	0
	女子	281	280	280	0	0	1	0	0	0
	合計	593	586	584	2	0	7	0	0	0
平成18年度	男子	310	306	305	1	0	1	1	1	2
	女子	256	256	256	0	0	0	0	0	0
	合計	566	562	561	1	0	1	1	1	2
平成19年度	男子	262	260	259	0	1	0	0	2	0
	女子	274	272	272	0	0	0	0	2	0
	合計	536	532	531	0	1	0	0	4	0
平成20年度	男子	280	278	278	0	0	0	0	2	0
	女子	261	260	260	0	0	0	0	1	0
	合計	541	538	538	0	0	0	0	3	0
平成21年度	男子	275	271	268	0	3	0	0	4	0
	女子	320	320	320	0	0	0	0	0	0
	合計	595	591	588	0	3	0	0	4	0
平成22年度	男子	244	244	243	0	1	0	0	0	0
	女子	250	250	250	0	0	0	0	0	0
	合計	494	494	493	0	1	0	0	0	0
平成23年度	男子	275	268	266	2	0	4	0	3	0
	女子	230	230	230	0	0	0	0	0	0
	合計	505	498	496	2	0	4	0	3	0
平成24年度	男子	235	232	232	0	0	3	0	0	0
	女子	228	225	225	0	0	0	0	3	0
	合計	463	457	457	0	0	3	0	3	0
平成25年度	男子	227	227	225	2	0	0	0	0	0
	女子	229	227	226	0	1	1	0	1	0
	合計	456	454	451	2	1	1	0	1	0
平成26年度	男子	248	242	239	3	0	3	0	3	0
	女子	254	249	248	1	0	2	0	3	0
	合計	502	491	487	4	0	5	0	6	0
平成27年度	男子	213	210	209	0	1	3	1	0	0
	女子	227	227	225	1	1	0	0	0	0
	合計	440	437	434	1	2	3	1	0	0
平成28年度	男子	255	252	250	1	1	1	0	1	1
	女子	221	220	218	2	0	0	0	1	0
	合計	476	472	468	3	1	1	0	2	1

３　学 校 施 設

◎各小・中学校の建物及び校地の保有面積（5月1日現在）

面積等 / 学校別	児童生徒数 計	学級数 計	校舎面積 計（㎡） ①+②+③	構造別面積 R（鉄筋コンクリート） ①	構造別面積 S（鉄骨） ②	構造別面積 W（木造） ③	屋内運動場（㎡）	校地面積 計（㎡） ④+⑤+⑥	保有 建物敷地 ④	保有 運動場 ⑤	保有 その他 ⑥	プール施設
第一小学校	463	18	6,599	6,403		196	860	19,064	8,899	8,975	1,190	２５ｍ６コース
第二小学校	230	10	5,672	5,543	79	50	860	24,651	14,495	10,156		２５ｍ６コース
第三小学校	283	14	5,903	5,442	461		956	18,258	9,912	8,163	183	２５ｍ７コース
第四小学校	203	10	4,639	4,639			973	17,193	9,772	7,421		２５ｍ６コース
第五小学校	314	16	4,680	4,237	418	25	805	16,834	9,443	7,391		２５ｍ６コース
三会小学校	269	13	3,871	3,690	150	31	700	15,038	4,972	10,021	45	２５ｍ６コース
長貫分校	14	2	416		296	120		3,299	1,462	1,347	490	
大三東小学校	232	12	3,664	3,602		62	660	16,354	6,707	7,659	1,988	２５ｍ６コース
高野小学校	73	7	1,934	1,742	170	22	465	11,249	5,668	5,581		２５ｍ６コース
湯江小学校	226	11	3,625	3,545	80		694	15,363	8,125	7,238		２５ｍ６コース
合計（10 校）	2,307	113	41,003	38,843	1,654	506	6,973	157,303	79,455	73,952	3,896	
第一中学校	355	12	5,438	5,322	32	84	980	18,932	8,733	10,199		
第二中学校	187	9	6,183	6,151		32	1,202	47,511	21,039	24,408	2,064	
第三中学校	158	8	4,375	3,738	550	87	886	19,250	4,914	14,336		
三会中学校	110	3	3,469	3,157	206	106	860	20,499	8,995	11,504		
有明中学校	323	11	5,459	4,992	412	55	1,337	24,770	10,666	14,104		
合計（５校）	1,133	43	24,924	23,360	1,200	364	5,265	130,962	54,347	74,551	2,064	

４　奨 学 金

【貸与型奨学金】

○目　的　　経済的理由により修学が困難な者に奨学金を貸し付け、有為な人材の育成に資する。
○資　格　　本人又は扶養者が島原市に住所を有し、高校等に在学する者（専修学校等にあっては、修業年限が２年以上の課程に修業する者）
○貸付額　　高等学校　　月額１５，０００円（専修学校の高等課程及びこれに準ずる課程を含む）
　　高等学校以外（大学等）月額２５，０００円
○償　還　　高校等を卒業した月の翌月から起算して半年を経過した後、貸付けを受けた期間の２倍に相当する期間内に月賦又は半年賦の方法で全額を償還する。

※平成２８年度学校別貸付状況

貸付人員 / 学校別	新規貸付者 人	継続貸付者 人	合　計 人
高等学校	４	１０	１４
専修学校等	２	２	４
大学	５	１３	１８
合計	１１	２５	３６

※島原市奨学金の貸付額及び償還額累計：うち(　)内は旧有明町奨学資金分

区分 / 年度	貸付累計人員 人	貸付累計額 千円	償還累計額 千円
平成１８年度	1,276	332,908	253,062
平成１９年度	1,293	347,740	265,589
平成２０年度	1,309	360,835	279,204
平成２１年度	1,324	371,065	290,444
平成２２年度	1,341	379,765	302,275
平成２３年度	1,356	388,120	314,313
平成２４年度	1,373	396,895	326,254
平成２５年度	1,379	404,065	339,442
平成２６年度	1,394	410,605	353,559
平成２７年度	1,410	419,545	365,596
平成２８年度	1,421	428,740	377,220

【ふるさとにもどってこんね奨学金】

○目　的　　将来、故郷 島原市に帰郷し、就業する若者を応援するため、平成２９年度から「ふるさとにもどってこんね奨学金」の貸付を行い、有為な人材の育成を図る。また、島原市内に帰郷し就業することで、奨学金の償還を免除することにより、修学を容易にし、島原市内への定住促進を目的とする。

○資　格　　次の各号のすべてに該当すること。

（１）本人又は法定代理人が本市に住所を有し、市税の滞納がない者であること。

（２）大学等に在学している者であること。（申請年度新入学した者に限る。）

（３）経済的理由により修学が困難な者であること。

（４）学業成績が優秀（次のいずれかの要件を満たす者）で、かつ品行方正である者

①直近の大学入試センター試験の国語、数学、外国語のうち受験した科目の合計得点が、満点の８０％以上であること。

②高等学校の５段階評価の平均値が　４．３以上であること。

（５）大学等を卒業後、市内に帰郷し就業する意思がある者であること。

○貸付額　　大学（大学院を除く）、短期大学、専修学校（専門課程）　　月額５０，０００円

○償還の猶予・免除

（１）ふるさとにもどってこんね奨学生であった者が、大学等（大学院を含む）を卒業後、本市に３年以内に住民票を有し、かつ実際に居住し、その後、継続して就業（アルバイト等の非正規雇用を除く）している者は、当該就業期間の償還を猶予する。

（２）当該就業期間の猶予期間が５年を超える者については、債務償還額の全額を免除する。

○償　還　　上記猶予要件を満たさなかった場合は、大学等（大学院を含む）卒業の３年後から貸し付けを受けた期間の２倍の期間内に、月賦又は半年賦の方法で貸与を受けた奨学金の全額の償還義務が発生する。また、猶予期間の中途で免除要件を満たさなくなった場合は、猶予を取り消し、貸与を受けた奨学金の全額の償還義務が発生する。

５　学 校 教 育

【 １ 】学校の教育目標及び研究主題

学校名	学校教育目標及び研究主題 教育目標…上段 研究主題…下段		
第一小学校	学校像 ○ 笑顔のある学校 ○ 活気のある学校 ○ 美しい学校	子ども像 ○ 進んで学び、よく考える子ども（知） ○ 明るく、思いやりのある子ども（徳） ○ 心身ともに健康で正しいことを貫く子ども（体）	教師像 ○ 教師集団（同じ目的で協力と補完） ○ 一人ひとりの子どもの心をつかみ、よさを認め、伸ばす教師 ○ 自己研鑽に努め、授業で「生き抜く力」を育もうと努める教師
	自分の考えを持ち、認め合い、高め合う子どもの育成 ～かかわり合いを大切にした学習指導を通して～		
第二小学校	学校像 ○ 美しい学校 ○ 節度のある学校 ○ 活気のある学校	子ども像 ○ よく考え、進んで学ぶ子ども（知） ○ 思いやりがあり、心やさしい子ども（徳） ○ 健康でたくましい子ども（体）	教師像 ○ 一人一人の子どもを大切にする教師 ○ 豊かな指導力をもち、授業にかける教師 ○ 優しさと厳しさをもち、信頼される教師
	文章を正しく読み取り、自分の思いを分かりやすく伝える子どもの育成 ～国語科における「読むこと」の学習を通して～		
第三小学校	学校像 ○ 確かな学力を保障する学校 ○ 明るく支え合う学校 ○ 安全で美しい学校	子ども像 ○ よく考え進んで行動する子ども（知） ○ 人にやさしく物にもやさしい子ども（徳） ○ たくましい心と体をもった子ども（体）	教職員像 ○ 子どもに寄り添う教師 ○ 助け合い学び合う教師 ○ 温かさと厳しさをもち、信頼される教師
	児童が「分かる・できる」喜びを実感できる国語科の授業をめざして ～説明文における読む力の充実を図ることを中心に～		
第四小学校	学校像 ○ 美しい学校 ○ 高め合う学校 ○ 鍛え合う学校	子ども像 ○ かしこい子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）	教師像 ○ 優しさと厳しさをもち、信頼される教職員 ○ 学び合い、協働する教職員 ○ 自ら模範を示し、徹底する教職員
	自ら考え、学び合い、自分の思いを伝え合う子どもの育成 ～算数科における言語活動の充実を通して～		

<table>
<tr><td rowspan="2">第五小学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>子ども像</th><th>教職員像</th></tr>
<tr><td>○ 明るく活気に満ちた学校</td><td>○ 進んで学ぶ子ども
（知）</td><td>○ 教育愛に満ちた教職員</td></tr>
<tr><td>○ 学力をつける学校</td><td>○ 思いやりのある子ども
（徳）</td><td>○ 子どもと共に学ぶ教職員</td></tr>
<tr><td>○ 地域に開かれ美しい学校</td><td>○ 心身ともにたくましい子ども
（体）</td><td>○ 保護者・地域と連携する教職員</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主体的に学び合い、思考力、表現力を身につける指導法の創造
～算数的活動の工夫を通して～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">三会小学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>子ども像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ いきいきと活気あふれる学校</td><td>○ かしこい子
（知）</td><td>○ ともに成長する</td></tr>
<tr><td>○ 会い・合い・愛がいっぱい、一粒の努力</td><td>○ やさしい子
（徳）</td><td>○ ともに学ぶ</td></tr>
<tr><td></td><td>○ たくましい子
（体）</td><td>○ ともに汗を流す</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>豊かなかかわり合いを通して、よりよく生きようとする児童の育成
～思いを伝え合い、お互いに深め合う道徳の時間の工夫・改善～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">大三東小学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>子ども像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 子どもがいきいきと輝く楽しい学校</td><td>○ 進んで学ぶ子
（知）</td><td>○ 教師としての使命感にあふれ、専門職としての力量を磨く教師</td></tr>
<tr><td>○ 教職員がやりがいをもって仕事ができる学校</td><td>○ やさしい子
（徳）</td><td>○ 礼節を重んじ、人間愛に満ちた教師</td></tr>
<tr><td>○ 保護者や地域から信頼される学校</td><td>○ たくましい子
（体）</td><td>○ 明るく、元気で実行力のある教師</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>確かな読み取りをもとに考え、生き生きと伝え会う子どもの育成
～国語科における言語活動の工夫を通して～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高野小学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>子ども像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 明るく活気に満ちた学校</td><td>○ よく考え、進んで学ぶ子
（知）</td><td>○ 一人ひとりの子どもを大切にする教師</td></tr>
<tr><td>○ けじめがあり落ち着きのある学校</td><td>○ 助け合い、高め合う子
（徳）</td><td>○ 子どもと共に汗し、実践する教師</td></tr>
<tr><td>○ あたたかみのある清潔な学校</td><td>○ くじけず、自らをきたえる子
（体）</td><td>○ 優しさと厳しさをもち、信頼される教師</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ子どもの育成
～算数科における数学的活動の充実を通して～</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">湯江小学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>子ども像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 楽しい学校</td><td>○ 自ら考え、
自ら学ぶ子ども
（知）</td><td>○ 人間性豊かな教師</td></tr>
<tr><td>○ 美しい学校</td><td>○ 心豊かな、人となかよく
できる子ども
（徳）</td><td>○ 専門性を磨く教師</td></tr>
<tr><td>○ 地域と共にある学校</td><td>○ あきらめない
たくましい子ども
（体）</td><td>○ 使命感のある教師</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>自ら学び、かかわり合いながら課題を解決しようとする子どもの育成
～国語科における「探求型授業」の共通実践を通して～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第一中学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>生徒像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 秩序と活力の共存する
学校</td><td>○ よく考え
進んで実行する生徒
（知）</td><td>○ 初心と使命を忘れず、
自ら伸びる教師</td></tr>
<tr><td>○ 互いに認め合い高め合う
学校</td><td>○ 思いやりのある
心豊かな生徒
（徳）</td><td>○ 温かさのある厳しさと
深い教育愛で、生徒と
ともに生きる教師</td></tr>
<tr><td>○ 環境の美化・充実に努める
学校</td><td>○ ねばり強く
たくましい生徒
（体）</td><td>○ 心身ともに健康で明るく、
実践力のある教師</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>確かな学力と学びの習慣を身につけた生徒の育成
～指導・支援の工夫と生活の改善を通して～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第二中学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>生徒像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 生徒にとって
「通いたい学校」</td><td>○ 深く考え学びとる生徒
（知）</td><td>○ 自ら研鑽に励み伸びる教師</td></tr>
<tr><td>○ 保護者にとって
「通わせたい学校」</td><td>○ 自他を敬愛し心豊かな生徒
（徳）</td><td>○ 生徒と共に実践する教師</td></tr>
<tr><td>○ 教職員にとって
「働きがいのある学校」</td><td>○ 健康で前向きに取り組む
生徒
（体）</td><td>○ 保護者・地域の信頼に応える
教師</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>学ぶ姿勢を身に付けた、心豊かな生徒の育成
～学習規律の確立と道徳教育の充実を通して～</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>第三中学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>生徒像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 落ち着いた中にも
活気のある学校
○ 生命を尊重し、思いやりの
ある生徒が集う学校
○ 家庭地域との連携を図り、
信頼される学校
○ 教職員が働きやすい、
働きがいのある学校</td><td>○ よく考え、創意工夫
する生徒　（自主）
○ 思いやりのある、
心豊かな生徒　（友愛）
○ 自分を高めようと
努力する生徒　（意思）
○ 心身共に健康で、
たくましい生徒　（錬磨）</td><td>○ 研修に励み、資質の向上に
努める教職員
○ 生徒理解に努め、使命感に
燃える教職員
○ 人間性豊かで、互いに高め
合う教職員</td></tr>
<tr><td colspan="3">ＮＩＥを活用した志ある生徒の育成</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>三会中学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>生徒像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 愛情と信頼に満ちた
明るい学校
○ 秩序と節度のある学校
○ 生徒も教師も志高く
高め合う学校</td><td>○ 自ら考え
真剣に学ぶ生徒
○ 規則を守り
思いやりのある生徒
○ 心も体もたくましく
よく働く生徒</td><td>○ 常に研鑽に励み
授業で勝負する教師
○ 生徒理解に努め
生徒愛に富む教師
○ 人間性豊かで
意欲的な教師</td></tr>
<tr><td colspan="3">思考力・判断力・表現力の育成
～言語活動の充実を図る取り組みを通して～</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>有明中学校</td><td>
<table>
<tr><th>学校像</th><th>生徒像</th><th>教師像</th></tr>
<tr><td>○ 「誇り」の持てる学校
～強く、そして温かな有明中へ～</td><td>○ 夢と希望を持ち、
いきいきと学ぶことの
できる生徒
○ 元気なあいさつと、
思いやりや感謝の気持ちを
持てる生徒
○ ルールをきちんと
守れる生徒</td><td>教師であることの「誇り」
○ 「人を預かる」という、重大
な責任のある時間を持てると
いうこと。</td></tr>
<tr><td colspan="3">「確かな学力」の育成を図る学習指導のあり方
～アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を取り入れた指導の充実を目指して～</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

【２】島原市適応指導教室

（１）島原市適応指導教室設置の目的及び設置

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒（以下「対象児童生徒」という。）に対して、学校復帰を援助するため、島原市適応指導教室（以下「適応指導教室」という。）を設置する。

（２）対象児童生徒

適応指導教室に通級できる児童生徒は、次の各号に該当する児童生徒とする

①島原市在住の児童生徒

②島原市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が、適応指導教室における指導や援助が効果的と判断し、かつ、通級可能な児童生徒

③本人と保護者が、適応指導教室に通級することを希望する児童生徒

④在籍校長が、適応指導教室に通級することを認める児童生徒

（３）開設場所

島原市北門町１３０番地　　（TEL 0957-64-7098）

（４）開設日及び開設時間

①開設日は、毎週月曜日から金曜日までとする。ただし、教育委員会が別に定めた日については、開設しない。

②開設時間は、午前９時３０分から午後３時３０分までとする。

（５）指導者

教育委員会が、任命又は委嘱した相談員及び委員

（医療関係者、学校関係者、教育委員会職員、その他）

（６）指導方針

①基本的生活習慣の改善を図り、精神的及び社会的な自立を促す。

②体験学習・遊び等を通して、生活経験を広げるとともに、集団生活に参加する意欲を高める。

③児童生徒同士、児童生徒と指導者との人間的なふれあいを深めるとともに協調性や耐性を養う。

④児童生徒一人一人の学力に応じた個別指導を進めながら、学力の補充を行うことにより、学校復帰への抵抗を和らげる。

⑤教職員研修を充実する。

⑥不登校児童生徒の保護者会を定期的に開催し、情報交換をするとともに、相談員や専門相談員との懇談を実施し、保護者の悩み等を和らげる。

⑦訪問指導をし、通級できない児童生徒への相談・指導・援助を図る。

⑧教育委員会と学校・家庭・関係機関とが連携を図りながら、協力体制をより充実させることにより、児童生徒の学校への復帰を援助する。

（７）努力事項

①児童生徒同士、児童生徒と指導者との人間的なふれあいを深め、児童生徒の心を開かせる。

②学校・家庭・関係機関と連携を図るとともに、専門相談員の指導助言を受けながら児童生徒一人一人の実態に応じて、適切な相談・指導・援助を行う。

③教職員研修の充実を図るとともに、保護者へ適切な援助を行う。

（８）指導内容

①児童生徒に対する指導

ア集団生活への適応指導

様々な体験学習や遊び・各種行事への参加等を通じて、集団や小集団での相談指導・援助をし、集団生活への適応を図る。

イ生活指導

個別や小集団での相談・指導や対応をしていくなかで、基本的な生活習慣を身につけさせていく。

ウ教科指導

一人一人の学力に応じた個別指導を行う。

②保護者に対する相談・指導

ア個別相談をとおして、児童生徒への対応のあり方を考えたり、児童生徒の実態に応じて、専門家や他機関への紹介をする。

イ保護者会をとおして、保護者同士が子供への対応のあり方について学び合う。

③学校との連携

ア在籍校と連携を取りながら、児童生徒への指導のあり方を相談し合う。

イ通級状況を報告し、実態を知らせる。

ウ事例研修会や教育講演会をとおして、児童生徒への対応のあり方について学び合う。

④関係機関との連携

必要に応じて関係機関（県教育センター、市少年センター、長崎こども・女性・障害者支援センター、福祉事務所等）と十分連携を取りながら指導にあたる。

⑤専門家による指導

児童生徒一人一人の状態について、専門相談員の指導を受けながら、相談・指導・援助等を行う。

（９）島原市適応指導教室概要

・主管部局　　島原市教育委員会　学校教育課
・設置　　平成８年１０月１日
・平成８年度　　毎週火曜日と金曜日の週２日　相談員２名（週２日勤務）
・平成９年度　　毎週火曜日から金曜日までの週４日　相談員２名（週３日勤務）
・平成１０年度～１４年度　　毎週月曜日から金曜日までの週５日　相談員２名（週４日勤務）
・平成１５年度～　　毎週月曜日から金曜日までの週５日　相談員２名（週５日勤務）

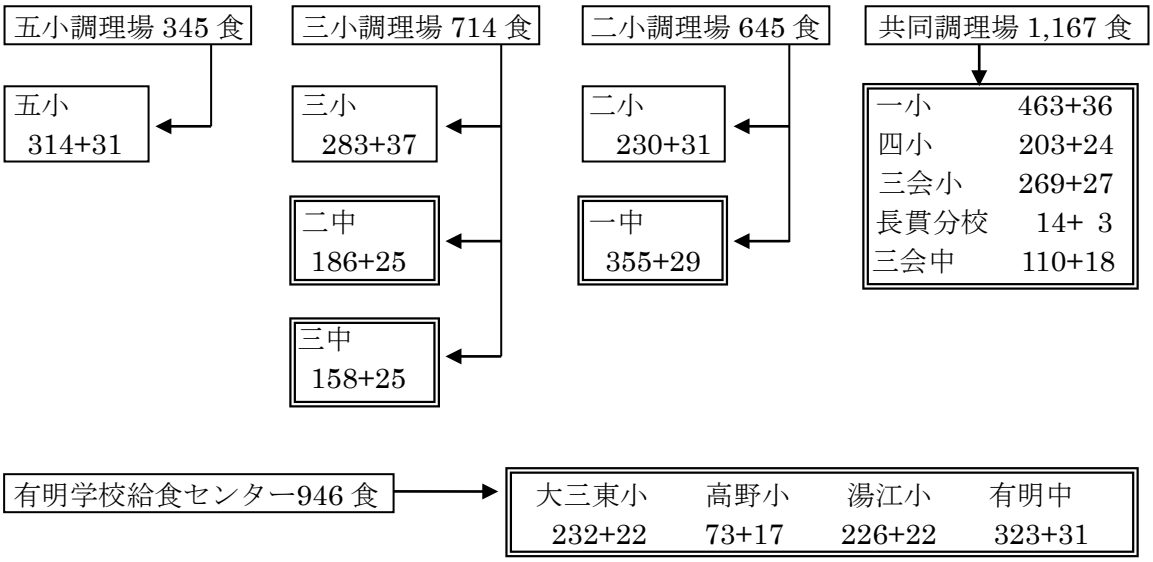
【３】学 校 給 食

平成２９年度の指導方針

（１）栄養のバランスがとれた食事が摂取できるよう努める。
（２）望ましい食習慣を形成し、自己の健康管理ができる能力を育てる。
（３）健康教育の一環としての給食指導の充実を図る。
（４）豊かな心の育成にかかわる食事環境の整備に努める。
（５）食生活が自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深める。

１ 学校給食実施状況

(1) ブロック調理方式（四小新校舎完成時　平成１２年９月から）



(2) 給食費

	１食単価	月額	年間予定回数
小学校	２３０円	４，０００円	１９６回
中学校	２７０円	４，７００円	１９４回

３月分月額は、年間の回数による調整額となる。

(3) 給食内容・方法

給食は週 5 回実施（パン給食 2 回、米飯給食 3 回）

① 献立作成
　ア）基本献立原案作成　　毎月１回（栄養教諭及び学校栄養職員 4 人）
　イ）献立原案検討　　（各学校において検討）
　ウ）学校給食研究会　　（学校からの意見を持ち寄り、内容の検討）
　エ）献立の決定

② 調理　（二小　三小　五小　共同調理場　有明学校給食センター）
　・ 食材発注、調理：調理校

③ 配送　１号車　三　小 → 二　中 → 三　小 → 三　中
　　２号車　四　小 → 一　小 → 二　小 → 一　中
　　３号車　共同調理場 → 三会小 → 共同調理場 → 三会中
　　４号車　共同調理場 → 長貫分校

５号車　センター→　大三東小→　センター→　湯江小→
センター→　高野小→　有明中→　センター→　有明中

２ 安全衛生管理の徹底

「学校給食衛生管理基準」に基づき施設・設備の整備を図るとともに関係職員の資質の向上に努める。

（1）学校給食施設設備の点検（年３回、各学期毎に実施）
薬剤師と連携し、給食施設の点検、食器の残渣テスト等を行う。

（2）専門業者によるネズミ及び衛生害虫防除（年３回、夏・春・冬実施）

（3）保健所係員による立入り検査（年１回）

３ 地域社会･家庭との連携

学校給食をとおして、地域社会及び家庭の食生活改善に資するとともに、児童・生徒の健康保持増進に努める。

（1）毎月の献立を内容とした広報紙を各家庭に配布する。
（2）地域団体との交流会時に給食試食会を行う。

４ 学校給食検討委員会

学校給食の充実について、広く意見を聴取するために設置する。
定数は２７名以内とし、校長代表、学校給食調理場長、育友会・地域代表等を構成員とする。



【共同調理場】



【有明学校給食センター】

６　学 校 体 育

【1】 目　標

学校における体育・健康に関する指導は、児童生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。特に、体力の向上及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科の時間はもとより、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めるとともに、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。

（1）小学校

心と体を一体としてとらえ，適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

（2）中学校

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

①体育科授業の充実

ア　指導方法の工夫改善に努め、基礎・基本の定着と効果的な学習の展開・実践に努める。

イ　教師の技能の向上と豊かな指導力と旺盛な意欲を養うための研修会、講習会への積極的参加に努める。

ウ　体力テストの実施

（全学年の児童生徒に実施することによって、体力向上のための基礎資料を得る。）

②中学校部活動の指導と管理

学校教育活動の一環として、学校管理下で運営を実施し、部活動外部指導者を含めた指導体制の確立と部活動の指導、管理に努める。

③小学校体育大会（小学校体育連盟）

市内の小学校の全５・６年生が集い、陸上競技を実施し、競技力及び体力の向上を図る。

④中学校体育大会（中学校体育連盟）

市中学校体育連盟、市教育委員会共催により、陸上競技大会と各種競技大会を実施し、競技力及び体力の向上を図る。

【２】平成２９年度中学校部活動実施状況

	部活動名	第一中学校			第二中学校			第三中学校			三会中学校			有明中学校			合計		
		男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計
1	陸上競技	4	7	11	1		1	6	15	21				5	18	23	16	40	56
2	水泳				9	1	10							6	16	22	15	17	32
3	バスケットボール	12	7	19	16	8	24							17	14	31	45	29	74
4	バレーボール	18	21	39		18	18	12	6	18		11	11	15	22	37	45	78	123
5	卓球	19	12	31	4	2	6	6	19	25		16	16	15	13	28	44	62	106
6	サッカー	38	1	39	15		15	16	2	18	14		14	22	2	24	105	5	110
7	軟式野球	26		26	3		3	3		3	18		18	30		30	80		80
8	柔道													5	1	6	5	1	6
9	剣道	9	2	11		2	2							5	5	10	14	9	23
10	ソフトテニス	28	19	47	20	19	39	16	13	29	16	18	34	24	14	38	104	83	187
11	ソフトボール																		
12	ブラスバンド	5	43	48		8	8					5	5		22	22	5	78	83
13	美術	3	17	20		8	8		12	12					13	13	3	50	53
14	パソコン	3	22	25													3	22	25
15	合唱							1	6	7							1	6	7
16	相撲																		
部活動員合計		165	151	316	68	66	134	60	73	133	48	50	98	144	140	284	485	480	965
生徒総数		196	159	355	99	88	187	78	80	158	58	52	110	165	159	324	596	538	1,134
部活動加入率		84.2%	95.0%	89.0%	68.7%	75.0%	71.7%	76.9%	91.3%	84.2%	82.8%	96.2%	89.1%	87.3%	88.1%	87.7%	81.4%	89.2%	85.1%

７　学 校 保 健

【１】目標

学校における保健管理及び安全管理に関し必要な事項を法に基づき実施し，児童・生徒及び職員の健康の維持増進を図る。

（１）小・中学校児童生徒の体位状況（市・県・全国比較表）

		身長(cm)		体重(kg)	
		男	女	男	女
6歳	市	116.8	115.8	21.6	21.4
	県	115.7	115.1	21.2	21.1
	国	116.5	115.6	21.4	20.9
7歳	市	122.5	121.5	24.5	24.0
	県	121.8	121.0	24.0	23.5
	国	122.5	121.5	24.0	23.5
8歳	市	128.0	127.4	26.7	26.8
	県	127.5	126.9	27.0	26.7
	国	128.1	127.2	27.2	26.4
9歳	市	133.0	134.0	30.5	31.1
	県	133.1	133.1	30.5	30.0
	国	133.6	133.4	30.6	29.8
10歳	市	138.6	140.2	33.8	34.9
	県	138.7	139.9	34.5	34.5
	国	138.8	140.2	34.0	34.0
11歳	市	145.0	147.5	37.5	39.3
	県	145.2	146.6	38.6	39.4
	国	145.2	146.8	38.4	39.0
12歳	市	152.0	152.1	43.9	44.7
	県	152.8	151.7	44.6	44.4
	国	152.7	151.9	44.0	43.7
13歳	市	159.9	155.6	49.0	48.6
	県	159.4	154.5	48.7	47.8
	国	159.9	154.8	48.8	47.2
14歳	市	164.3	156.4	52.8	52.0
	県	164.8	156.0	54.0	50.6
	国	165.2	156.5	53.9	50.0

（国・県・市とも平成２８年度）

８　社 会 教 育

【１】社会教育関係団体

（１）　婦人会

市内５地区には、地区婦人会があり、独自の活動目標を掲げ、女性学級等の研修活動や環境美化等の奉仕活動に取り組むとともに、地域の行事にも積極的に参画している。また、青少年の健全育成活動にも熱心に取り組み、地区婦人会を束ねる市婦人会連絡協議会では、活動の目標に「地域の子育てや高齢者支援に積極的に参加しましょう」を挙げ、島原市ココロねっこ運動の推進に積極的に参画している。特に「通学合宿」においては、毎回、地区婦人会の多大な協力を得ている。

市をはじめ地域の諸行事や青少年の健全育成の推進において欠くことのできない団体であり、会の運営については、自主運営の方針を尊重しながら婦人会活動の活性化について、適切な助言を行う。

（２）　青年団

島原市の青年団活動は、地区青年団として白山青年団が活動を行っている。

団員は少ないが、青少年健全育成活動にも力を入れており、地区の通学合宿や精霊流し等での活動は、市民に高い評価を得ている。

今後も、新規団員の獲得やリーダー育成などの支援に努めていきたい。

（３）　青少年健全育成協議会

市内７地区で組織されている青少年健全育成協議会は、地域全体で子どもたちを育成する中心母体として、地区ごとの特色を生かし、体育・レクリエーション行事、伝承・伝統行事、週末の余暇活動等を実施している。これらの活動を通して、親子や三世代のふれあい、地域の連帯意識を高めている。７地区の健全育成会の連合組織である市青少年健全育成連絡協議会では、各地区の活動状況等の報告会を定期的に開催し、意見交換を行うなど、他地区の成果を共有し、各地区の活動に生かしている。

（４）　ＰＴＡ

市ＰＴＡ連合会は、小中学校１４校のＰＴＡで結成されている。県ＰＴＡ連合会の「自らの人間力を高め、教育力の向上を目指すＰＴＡ活動を推進しよう」というスローガンのもと、「児童生徒の福祉を増進するために、相互に連絡し協力し、責任を分け合い、教育の進展に努力すること」を目的としている。市ＰＴＡ連合会研修会の充実に向けた連携強化を図るとともに、家庭教育学級や各種の行事を通して、ＰＴＡ会員の資質の向上に努める。

各単位ＰＴＡ会員に対しては、各種研修会の充実とともに、今日の社会情勢や子どもの現状を考え、自分の子育てを見直し、積極的な子育てができるように努め、「基本的な生活習慣の定

着」「スマートフォンや携帯電話の正しい使用法の定着」「たくましい子どもの育成」など、家庭教育力の向上を図る。

地域ぐるみの子育てを目指した「島原市ココロねっこ運動」の推進に向けては、異学年による通学合宿の実施、子育て支援団体との連携、地域・学校協働の推進を図っていく。その中で、子育てにおける家庭の役割、学校の役割、地域や行政の支援のあり方等を明らかにし、今後の子育て環境の向上につなげ、子どもが健やかに育つ地域づくりを目指す。

（5） 子ども会

長崎県子ども会育成連合会(県子連)に加入している会員数は、少子化の影響を受け年々減少してきている。このため、単位子ども会としての活動が困難になったり、役員の選出が困難になるなどの問題が生じている子ども会もあり、これらの問題解消のため、子ども会の合併を実施、検討しているところも出てきている。子ども自身による企画・運営の場や自然や地域の中での体験活動の減少も見られ、子どもたちにとって一番身近な地域活動の場が弱体化してきており、今後、ＰＴＡ等との連携を図りながら、強固な組織づくりを踏まえた支援を行う必要がある。

単位子ども会の連合組織である「島原市子ども会育成連絡協議会」（市子連）が単位子ども会の活性化に向けて、様々な取り組みを行っており、自主的な運営に向けて助言等を行っていく。

（6） 高齢者団体

市老人クラブ連合会（市老連）は、７地区の各老人クラブから構成されている。福祉行政とも連携し、健康で豊かな老後を過ごせるよう、各種行事等へ積極的に参加するよう促すとともに、地域の子どもたちとの交流、高齢者学級の運営等に自ら進んで参加できるような工夫・配慮を行う。

【２】公民館活動

（１）各地区公民館の概況

（平成29年4月1日現在）

地区名	有明	三会	杉谷	森岳	霊丘	白山	安中	合計
公民館名称	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	霊丘公民館	白山公民館	安中公民館	
対象区域(k㎡)	23.49	9.28	9.88	2.80	2.20	2.69	8.48	58.82
世帯数	3,835	1,698	1,474	3,814	2,768	3,233	2,740	19,562
人口	10,712	4,671	3,609	8,254	5,754	6,613	6,378	45,991
館長	社会教育課長が兼任							1
職員数	1	1	1	1	1	1	1	7
事務員	1	1	1	1	1	1	1	7
敷地面積(㎡)	5,658	1,961	3,896	1,443	1,636	1,238	1,928	17,760
施設面積(㎡)	1,779	964	1,118	1,353	1,016	971	785	7,986
施設構造	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋3階	鉄筋2階	鉄筋2階	－
竣工年	S47.4	H1.7	H10.12	S45.3	S50.11	S59.3	S53.11	－
駐車場(台)	181	50	66	8	48	29	23	405
図書室蔵書数	－	4,637	3,788	－	3,022	5,234	1,758	18,439
サークル数	34	18	29	38	33	32	18	202

※対象区域面積には国有林を含まない。

（２）公民館活動の目標

★健やかな子どもたちの成長を願い、ＰＴＡや地域の子ども会・青少年健全育成協議会と連携し、公民館を拠点とした青少年健全育成活動を行う。

★家庭教育学級・女性学級・高齢者学級・青年教室などの学級や講座を開催し、地域住民の学習意欲を高める。

★趣味・サークルなどのグループ活動を促進し、生きがいを求める諸活動を推進する。

★青年団・婦人会・老人クラブなどを中心として、地域住民のふれあい活動を進める。

（３）公民館運営計画

① 公民館を拠点とした青少年の学校外活動の充実

学校週５日制については、子どもの学力や昨今のスポーツ活動を背景として、子どもたちの休日における学校外活動や地域活動のあり方に関心が高まっている。公民館においても、子ども向けの事業の企画や、学校や地域と連携した各種事業の実施を通じて公民館が子どもたちの活動の場やいこいの場となるよう努めたい。

② 学級・講座の充実

生涯における各時期（乳幼児、学童、青年、成人、高齢期）の諸課題をふまえた生涯学習を展

開し、それぞれに合わせた各種学級講座を開設するとともに、生きがいを求めるための仲間づくり、趣味のサークル・グループ活動の奨励と拡充を図る。特に家庭教育学級については、青少年の実態から家庭教育の重要性が指摘される状況下、学校・ＰＴＡ・地区青少年健全育成協議会及び公民館の４者の協働により、健康教育講座や社会教育課による出前講座等を取り入れつつ、新たな課題への対応等にも配慮し、それぞれの特色を生かした総合的な講座となるよう努めたい。

また、その集大成として、各公民館における生涯学習の発表と地域住民の交流の場として「公民館まつり」の充実を図りたい。

③ 図書活動

公民館を利用する地域住民からの図書室環境整備や蔵書充実等の要望を受け、その意向にそった図書室の整備・活用及び図書購入を行う。購入した新刊図書などについては、随時、広報活動を通じて啓発を行う。図書の配置場所や明るい図書室の雰囲気づくりなど親しみやすい環境づくりにも配慮し、子ども向け図書の充実やおはなし会等を通じて、子どもの姿の見える図書室・公民館づくりに努めたい。

④ 視聴覚教育活動

各種学級（教室）講座などに、随時、ビデオ、プロジェクター等の視聴覚機材を利用した学習の充実を図っていくと同時に、視聴覚ライブラリー教材ビデオ等ソフトの利用促進を図る。

また、情報化社会の進展に伴い、コンピュータが家庭に普及し、インターネット等に対する市民の関心が高いことから、「ＩＴ講習会」用として各公民館に導入したパソコンを活用して、多くの方が利用できるようパソコン入門講座等を開催していきたい。

⑤ 地域連帯感を高める活動

うるおいと活力に満ちた郷土づくりに寄与するため、共に助け合い、高め合う地域の連帯感づくりに、地域の特性を生かした三世代ふれあい活動などを行う。

⑥ 社会教育関係団体育成計画

ア　青年団

現状では、青年団活動が行われているのは１地区のみであるが、各地区においても、青年層が公民館を利用する活動等を支援するため、青年が参加できる講座や行事を工夫し、地域に密着した青年活動の再生と活発化を図りたい。

また、地域における子どもたちの体験活動の不足が指摘されており、青年層の指導的な立場での参画を促すと共に、自主的な学習、行事への積極的な参加意欲を高め、地域との連帯を深めるよう努めていきたい。

イ　婦人会

減少傾向にある婦人会組織の維持・強化を図るため、「無理をせず、お互いに支えあい、

和気あいあいと、できる人ができる時に、できることを」をモットーに「婦人会に入ってよかった」と思われるやりがいのある、魅力ある婦人会づくりを促していく。

会員自身の学習・研鑽に努め、子どもの健全育成と地域婦人としての教養の向上を図る。

また婦人会が解散した市内２地区においては、新たに女性の会が結成され、地域の活性化のために取り組んでいる。婦人会、女性の会も活性化のための育成を図る。

ウ　高齢者団体

健康保持と豊かな老後を過ごせるよう、高齢者学級、グラウンドゴルフやゲートボールなどの軽スポーツ、研修視察等を通して会員相互の親睦・融和を図るとともに、社会奉仕活動等を取り入れた地域活動を通して、生きがいを求め、頼れる人としての意識の高揚に努める。

また、地域の小中学生との交流も積極的に行う。

エ　ＰＴＡ

明るく素直で健康的な子どもを育てるために、家庭教育学級、各種行事等を通して常に連携をとりながら、子育ての推進・強化を促す。

そのため、市ＰＴＡ連合会や単位ＰＴＡとの連携を深めながら、役員や会員研修の充実を図る。

⑦ 青少年健全育成活動

多様化した社会環境の中で青少年の非行は大きな社会問題である。各種団体と連携を密にし、地区青少年健全育成協議会を中心として、子どもたちの心豊かで健やかな成長を願い、地域の特性を生かした行事や環境整備に努める。

⑧ 広報活動

・各種行事啓発のため「公民館だより」を発行し、内容の充実を図る。
・各種関係団体との連携をとり、団体の広報活動の促進を図る。
・公民館関係行事等を報道機関へ連絡し、広く周知を図る。
・島原市ホームページや市広報紙を活用し、積極的な情報発信を行う。

【３】公民館利用状況（平成２８年度）

	公民館行事		各種団体		趣味・サークル		官公署その他		回数合計	人数合計
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員		
有明	109	5,592	443	12,428	1,912	11,361	335	4,752	2,799	34,133
三会	67	2,161	173	7,960	466	3,569	226	7,548	932	21,238
杉谷	69	1,609	312	4,621	868	11,116	353	8,054	1,602	25,400
森岳	120	5,768	725	11,738	1,176	10,401	651	15,875	2,672	43,782
霊丘	65	2,724	394	6,909	1,265	13,936	336	6,165	2,060	29,734
白山	91	2,474	187	5,176	1,336	15,619	186	6,686	1,800	29,955
安中	122	2,865	180	7,055	540	5,425	160	4,836	1,002	20,181
計	643	23,193	2,414	55,887	7,563	71,427	2,247	53,916	12,867	204,423

【４】生涯学習推進

（１） 各公民館が開設する各種学級・講座

・学級の概況

本市は、市内７地区に１館ずつ公立の公民館を設置している。

各地区の公民館は、それぞれ独立し、公民館を主会場として公費の各種学級・講座を開設している。

□開設状況（平成２８年度）

公民館／学級名	有　明	三　会	杉　谷	森　岳	霊　丘	白　山	安　中	合　計
高齢者学級	1	1	1	1	1	1	1	7
女性学級	1	1	2	2	2	1	1	１０
青年教室						1		1
家庭教育学級	1	1	1	1	1	1	1	7
合　　計	3	3	4	4	4	4	3	２５

公民館自主講座	4	１５	7	3	8	１８	3	５８

（2）社会教育課が主催、共催する各種講座

① 県立学校地域開放講座

県立高等学校を開放して広く成人一般を対象に、一般教養・専門的技術の学習の場を提供しようと県教委・市教委の共催で県立学校地域開放講座を実施している。

この講座は、「ながさき県民大学」連携講座にもなっており、島原市民の他、近隣町の住民へも広く参加を呼びかけている。

② 健康教育講座

昭和５１年度から始められた健康教育講座も女性学級や高齢者学級の中の重要な講座として定着しており、そのテーマなど学級生の関心も高く、毎回、多くの参加者があり、また、子育て中のお父さん、お母さんを対象とした家庭教育学級へも導入し家庭での健康づくりに活かされている。

講師は、主に医師会の医師が当たり、そのほかに歯科医師会、栄養士会、島原市地域包括支援センター等も担当し、「私の健康、家族の健康」というスローガンのもとに、これからの健康づくりを目標に医師会の全面的な協力を得て実施しており、県下でも特色ある講座となっている。

③「ＩＴ講習会」

各地区公民館に配置したパソコンを利用して、初級、中級者を対象とした、ワード、エクセル講座などを開催しており、受講希望の多い講座となっている。

（3）青少年教育

① 各公民館が主催する講座・行事

ア　子ども向けおはなし会

イ　各種子ども体験活動

② 社会教育課が主催する講座・行事

ア　通学合宿

各地区健全育成団体やＰＴＡなどの協力のもとに市内全地区で実施している。２泊３日または３泊４日の日程で公民館において、炊事などの身の回りのことを自分達で行う集団生活を送りながら学校へ通い、子どもたちの“生きぬく力”を育む。

イ　週末余暇活動

子どもたちの週末の居場所づくりとして、健全育成会やＰＴＡ、婦人会や老人クラブ等の協力を得て、各地区の公民館や学校を舞台に様々な遊びや体験活動を実施している。

（4）子育て支援

① 子育て講座

よりよい家庭教育のあり方や前向きに子育てに取り組む方法などを学ぶ機会とするため、小・

中学校及び産婦人科医院の協力を得て、発達段階（思春期）に応じた子育て講座を年５回開催する。なお、平成２０年度まで実施していた妊娠期子育て講座は、平成２１年度から福祉保健部こども支援グループ（現こども課）において実施している。

【資　料】

社会教育委員名簿

（平成２９年４月１日から平成３１年３月３１日まで任期２年）

氏名	備　考
◎　金子　統太郎	学識経験
○　中村　義則	学識経験
大町　範保	学識経験
佐藤 美由紀	家庭教育
村本　雅一	社会教育
石井　泰彦	学識経験
肘井　裕子	家庭教育
豊田　芳明	社会教育
古瀬　彬	社会教育
永田　俊文	学校教育
森川　涼子	家庭教育

各種学級・教室学習計画

① 平成２９年度青年教室実施計画

回	中 央 青 年 教 室 白山地区青年団　（２０名）
1	地域交流「七夕飾り作り」　６月
2	高齢者との交流「敬老祝賀会」　９月
3	お菓子づくり　１０月
4	地域交流「白山公民館まつり」　１１月
5	地域交流「オリエンテーリング大会」　２月

平成29年度　各地区女性学級実施計画（9学級）

回	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	
	有明女子会キララ	双葉女性学級	ほたる女性学級	さくら女性学級	ゆうすい女性学級
	有明地区在住の女性 公民館利用者（39名）	三会婦人会会員 （75名）	市内在住の女性 （20名）	森岳婦人会会員 （51名）	市内在住の女性 （33名）
1	6月　開講式 お茶の作法を学ぶ	5月　開講式 生花のアレンジ	5月　開講式 私たちの生活の中のジオパーク	5月　開講式 落語を楽しむ	4月　開講式 年間計画説明・班分け
2	7月 お菓子作り	7月 見学学習（熊本）	6月 一人芝居「山番」	6月 和楽器に親しむ	5月 音楽を楽しむ
3	9月 足つぼマッサージ	7月 足つぼマッサージ	7月 島原の歴史と文化	7月 ストレッチ体操	6月 見学学習
4	10月 見学学習	8月 健康教育講座	8月 竹取物語とジオ	9月 プリザーブドフラワーの小物作り	7月 健康料理教室
5	12月 フラワーアレンジメント	9月 爪のお手入れ講座	10月 松平文庫見学	10月 介護の基本	9月上旬 市議会傍聴
6	1月 野菜のカッティング	10月 ヨガ	11月 島原方言とジオパーク	11月 見学学習	9月下旬 健康体操
7	3月　閉講式 知ると楽しい歴史の雑学	11月 デザイン書に挑戦	12月 ジオの恵みで料理教室	12月 日赤炊き出し講習	10月上旬 介護施設を知ろう
8		12月 正月飾り作り	1月 あの時・あの頃を話してみよう！	1月 童謡と昔話	10月下旬 介護施設訪問
9		1月 百人一首を楽しむ	2月 ジオ科学実験	2月　閉講式 人権学習	11月 手芸
10		2月　閉講式 人権学習	3月　閉講式 チャレンジ！ジオ検定		12月 正月花を生ける
11					1月 小さな国際交流
12					2月 落語を楽しむ
13					3月　閉講式 反省会・次年度計画

回	霊丘公民館		白山公民館	安中公民館
	中央女性学級	コスモス女性学級	白山女性学級	安中女性学級
	霊丘婦人会会員 （50名）	市内在住の女性 （60名）	白山婦人会会員 （70名）	安中婦人会会員 （50名）
1	5月　開講式 島原の水巡り	5月　開講式 鯉の泳ぐ町の歴史	4月　開講式 ザクザク雑学講座	5月　開講式 グラウンドゴルフ
2	6月 見学学習	6月 栄養講座	5月 グラウンドゴルフ	6月 健康体操
3	7月 音楽の楽しみ	7月 こけ玉作り	6月 正しい姿勢で歩きましょう	7月 マイナンバー・そうめん料理
4	8月 健康教育講座	9月 スロージョギング講座	7月 ペットボトルピザ作り	8月 健康教育講座
5	11月 グラウンドゴルフ	10月 弦楽器とピアノの演奏会	9月 人権学習	10月 人権学習
6	12月 料理教室	11月 生活の中の科学	10月 小物作り	11月 見学学習
7	1月 古典文学を楽しもう	12月 古典文学に親しむ	11月 心理描画講座	2月　閉講式 我が家の自慢料理
8	2月 韓国を知ろう	1月 人権学習	12月 料理教室	
9	3月　閉講式 人権学習	2月　閉講式 いちご大福作り	2月 見学学習	
10			3月　閉講式 健康教育講座	

平成29年度　高齢者学級実施計画（7学級）

回	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	霊丘公民館	白山公民館	安中公民館
	有明高齢者学級 老人会 （30名）	三会高齢者学級 三会明生会 （30名）	杉谷高齢者学級 杉谷悠友塾 （60名）	森岳高齢者学級 森岳楽生会 （60名）	霊丘高齢者学級 霊丘長寿会 （40名）	白山高齢者学級 白山長生きクラブ （50名）	安中高齢者学級 安中長寿会 （60名）
1	6月 開講式 交通・生活安全	4月 開講式 交通・生活安全	4月 開講式 交通・生活安全	5月 開講式 交通・生活安全	5月 開講式 歴史学習	4月 開講式 交通・生活安全	4月 開講式 交通・生活安全
2	7月 脳が喜ぶ	5月 こけ玉づくり	5月 見学学習	6月 歴史学習	6月 交通・生活安全	5月 軽スポーツ	5月 見学学習
3	9月 健康教育講座	6月 見学学習	6月 人生講話	7月 健康体操	7月 軽スポーツ	6月 見学学習	6月 健康体操
4	10月 見学学習	7月 健康教育講座	7月 健康教育講座	9月 笑いヨガ	9月 ロコモ・健康料理	7月 健康教育	7月 歴史学習
5	11月 簡単料理教室	9月 手品	9月 軽スポーツ	10月 見学学習	10月 健康教育講座	9月 音楽講座	9月 健康教育講座
6	11月 お正月飾り	10月 軽スポーツ	11月 ふるさと再発見	11月 健康教育	11月 見学学習	10月 制作関係	10月 料理教室、奉仕作業
7	11月 世界遺産	11月 消費者トラブル	1月 料理教室・新年会	12月 お正月飾り	12月 ジオパーク	11月 世代間交流	11月 島原半島の民話
8	3月 人生講話 閉講式	12月 お正月飾り	1月 伝承遊び	2月 人権学習 閉講式	1月 正月の文学	1月 人権学習	12月 脳が喜ぶ
9		1月 三会の方言	2月 脳が喜ぶ 閉講式		2月 人権学習 閉講式	2月 食と健康 閉講式	2月 人権学習 閉講式
10		2月 人権学習 閉講式					

【５】文化財及び文化事業

（1）文化財

島原市内には、国指定５、県指定１１、市指定７８、計９４件の指定文化財と３１件の登録文化財が存在する。

今年度も引き続いて文化財の発掘・顕彰に努め、価値あるものについては島原市文化財保護審議会に諮問し所要の保護策を講じるとともに、開発に伴う埋蔵文化財の保護と調査を実施する。

①国指定「旧島原藩薬園跡」

「旧島原藩薬園跡」については、トイレの水洗化や来客用駐車場を整備するなど年々サービス向上を図っている。平成２８年度は薬園利用者の利便性向上のために駐車場案内板を設置した。

今年度も史跡の保護を第一義としつつ、除草・伐採、そして植栽の見直しなど親しまれるよう、管理・運営に努める。

②県指定「肥前島原松平文庫」

松平文庫においては、貴重な文化財を後世に継承するため、年次計画によりマイクロフイルム化による複写保存を行っているが、平成２８年度においては１３，６８９コマの複写を行った。今年度も、同程度を複写する予定である。修復作業については２人体制で実施しており、逐次開帳確認の上、虫損の修復等を行っている。また、国文学界において全国的な知名度があるため研究者等の来所調査の対応も多く、目録の頒布、マイクロリーダーを利用した閲覧などにも対応している。

松平文庫を市民に親しんでもらうため、随時、展示コーナーで史料の展示を行うほか、旧島原藩の記録である「島原藩日記」を刊行する。

③有明資料館（大野原遺跡展示館）

有明総合文化会館地下にあり、建設時の発掘調査により出土した遺構や土器・石器などを展示している。

遺構の状況から縄文時代の土器づくりの工房跡と推測されており、建物跡などの遺構の復元やビデオコーナーなどにより利用者の理解を図っている。

④伝統的建造物群の保護

鉄砲町（上新丁～江戸丁）に残る古い建造物群の保存について、理想とされている下ノ丁、江戸丁、中ノ、古丁、北原町の一部、新建の一部を対象として制度を導入するために、地域住民の合意形成が図られるように、建設部等と連携して取り組む。

ア　国指定文化財

種　　別	名　　称	所　　在	指定日
特別名勝	温泉岳	温泉岳国有林	S27. 3. 29
天然記念物	普賢岳紅葉樹林	温泉岳国有林	S3. 3. 31
天然記念物	野岳いぬつげ群落	温泉岳国有林	S3. 3. 31
史跡	旧島原藩薬園跡	小山町	S4. 4. 2
天然記念物	平成新山	三会･安中温泉岳国有林	H16. 4. 5

イ　県指定文化財

種　　別	名　　称	所　　在	指定日
史跡	まだれいな銘キリシタン墓碑	山寺町　共同墓地	S2. 11. 8
史跡	島原城跡	城内一丁目	H28. 2. 18
天然記念物　植物	有明町の大樟	有明町大三東	S33. 6. 5
天然記念物	熊野神社の大クス	杉山町	S35. 7. 13
天然記念物	熊野神社の大ムク	杉山町	S35. 7. 13
天然記念物	島原イチゴ自生地	南千本木	S35. 3. 22
有形文化財　歴史資料	混一疆理歴代国都地図	本光寺	H11. 2. 17
有形文化財　歴史資料	日本大地図３鋪（一組）	本光寺	H17. 3. 25
有形文化財　考古資料	景華園遺跡出土の一括遺物 百二十二点	城内一丁目　島原図書館	H18. 3. 3
有形文化財　工芸品	刀　折返銘　神氣　附　本阿弥光温 折紙一通	城内一丁目　島原城	H19. 8. 31
有形文化財　古文書	肥前島原松平文庫	城内一丁目　島原図書館	H25. 3. 25

ウ　市指定文化財

種　　別	名　　称	所　　在	指定日
史跡	藩主松倉豊後守重政の墓	中堀町　江東寺	S57. 4. 5
史跡	藩主松平家の墓所	本光寺	S57. 4. 5
史跡	御用御清水	城内一丁目	S57. 12. 26
史跡	清水川	天神元町	S60. 6. 6
史跡	平山古墳	有明町湯江	S63. 1. 22
史跡	東空閑城の空ぼり	有明町大三東境の松	S63. 1. 22
史跡	板倉重昌の供養塔二基	中堀町　江東寺	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	南崩山町	H4. 9. 3

種　　別	名　　称	所　　在	指定日
史跡	流死菩提供養塔	三会町	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	田町	H4. 9. 3
史跡	宝篋印塔型流死供養塔	中堀町	H4. 9. 3
史跡	高力忠房・高力清長の供養墓碑二基	萩原一丁目　快光院	H4. 9. 3
史跡	高島回向堂	高島一丁目	H22. 2. 26
史跡	甚三郎山	萩原二丁目	H28. 12. 1
天然記念物　植物	恵里神社の大クス	江里町	S55. 6. 5
天然記念物　植物	オキチモズク	有明町湯江久原山ノ田川	H8. 11. 18
天然記念物　植物	昭和福ハゼ二世木	小山町　薬園内	H11. 4. 9
無形民俗文化財	島原の精霊流しと切子燈篭	市内全域	H11. 4. 9
無形民俗文化財	島原木綿		H22. 2. 26
有形民俗文化財	水権現の力石	大下町	H11. 4. 9
有形民俗文化財	量石	城内二丁目	H11. 4. 9
無形文化財	先踊	白土町	S54. 5. 21
有形文化財　絵図	市川泰朴の解体図	島原城	S50. 12. 25
有形文化財　絵図	島原藩士屋敷図	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財　絵図	森岳城図	八幡町　八幡神社	S50. 12. 25
有形文化財　絵図	旧村の地図（三之沢村・東空閑村・大野村）	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財　絵図	菊地能運の肖像	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財　建造物	本光寺山門	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財　建造物	キリシタン墓碑	島原城	S57. 4. 5
有形文化財　建造物	キリシタン墓碑	島原城	S57. 4. 5
有形文化財　建造物	切支丹墓碑２基	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財　建造物	隠し十字入地蔵型灯篭	島原城	H1. 12. 13
有形文化財　建造物	切支丹ＩＨＳ符号入平型石碑	城内三丁目	H1. 12. 13
有形文化財　建造物	一石五輪塔一基	寺中町　観音様谷	H4. 9. 3
有形文化財　建造物	一石五輪の塔	有明歴史民俗資料館	H4. 11. 10
有形文化財　建造物	流死人供養塔（松崎）	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財　建造物	流死人供養塔（大原）	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財　建造物	流死人供養塔（浜東）	有明町湯江	H4. 11. 10
有形文化財　建造物	定祐の碑	有明町湯江	H4. 11. 10

種　　別	名　　称	所　　在	指定日
有形文化財　建造物	金兵衛納経塔	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財　建造物	天如塔及び玉垣	湊道1丁目	H13. 7. 6
有形文化財　工芸品	涅槃図	中堀町　江東寺	S57. 4. 5
有形文化財　工芸品	壷形土器	宮の町　猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財　工芸品	杉谷焼	宮の町　猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財　工芸品	鰐口一口	崩山町崩山観音堂	H4. 9. 3
有形文化財　工芸品	日米親善人形(通称リトル・メリー)	島原第一小学校	H28. 12. 1
有形文化財　考古資料	景華園遺跡の支石墓掌石	島原城内	S57. 5. 7
有形文化財　考古資料	景華園遺跡の支石墓掌石	中野町	S57. 4. 5
有形文化財　考古資料	礫石原環状石組遺構	礫石原町	S59. 1. 10
有形文化財　書跡	板倉八衛門の書簡	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財　書跡	即非筆の書「高岳山」及び同扁額	南柏野町	H4. 9. 3
有形文化財　書跡	隠元筆扁額「獅子吼」一面	中堀町　江東寺	H4. 9. 3
有形文化財　彫刻	弁天像	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財　彫刻	十六羅漢石像	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財　彫刻	三十番神像	寺町　護国寺	S50. 12. 25
有形文化財　彫刻	地蔵菩薩立像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財　彫刻	地蔵菩薩立像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財　彫刻	如意輪観世音菩薩座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財　彫刻	銅造釈迦如来座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財　彫刻	木造釈迦如来座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財　彫刻	日蓮上人像	白土町	S57. 4. 5
有形文化財　彫刻	靭	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財　彫刻	六地蔵	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財　彫刻	六時観音	有明町大三東大原	S63. 1. 22
有形文化財　彫刻	観音菩薩	有明町湯江野田　清水神社	S63. 1. 22
有形文化財　彫刻	隠し十字入地蔵	南柏野町　晴雲寺	H1. 12. 13
有形文化財　彫刻	猿石	片町	H1. 12. 13
有形文化財　彫刻	金銅仏千手観音像	萩原1丁目　和光院	H1. 12. 13
有形文化財　彫刻	ﾏﾘｱ地蔵菩薩立像「通称ﾏﾘｱ地蔵」	山寺町　共同墓地	H4. 9. 3
有形文化財　彫刻	「歓喜天」又は「聖天」一躯	寺町　叶寺	H4. 9. 3
有形文化財　彫刻	地蔵像	有明町大三東	H4. 11. 10

種　　別	名　　称	所　　在	指定日
有形文化財　典籍	旧島原藩日記	島原図書館	S58. 6. 6
有形文化財　典籍	旧島原藩日記	宮の町　猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財　典籍	木下家の古文書	有明歴史民俗資料館	H6. 11. 9
有形文化財　歴史資料	長崎刻煙草	中組町	S54. 10. 15
有形文化財　歴史資料	金刀比羅宮の大木札	中組町	S54. 10. 15
有形文化財　歴史資料	キリシタン資料　母子像	湊道1丁目	S57. 4. 5
有形文化財　歴史資料	旧島原藩薬園跡御神体	宮の町　猛島神社	S58. 6. 6

エ　登録文化財

種　　別	名　　称	所　　在	登録日
登録有形文化財　建造物	清水家住宅主屋	上の町	H15.7.1
登録有形文化財　建造物	保里川家住宅主屋	上の町	H15.7.1
登録有形文化財　建造物	青い理髪舘（旧小林理髪舘）	上の町	H15.7.1
登録有形文化財　建造物	宮崎商店店舗・焼酎蔵・煙突	上の町	H15.7.1
登録有形文化財　建造物	中野金物店主屋・防火壁	上の町	H15.7.1
登録有形文化財　建造物	猪原金物店主屋	上の町	H15.7.1
登録有形文化財　建造物	加藤酒造店舗兼主屋・井戸・門・表土塀・裏土塀	有明町大三東	H20.10.23
登録有形文化財　建造物	鵜殿家住宅旧主屋・主屋・土蔵	上の町	H20.10.23
登録有形文化財　建造物	西川家住宅主屋	白土町	H20.10.23
登録有形文化財　建造物	小早川家住宅主屋・門・石塀・煉瓦塀	城内二丁目	H24.2.23
登録有形文化財　建造物	島原城御馬見所	城内一丁目　島原城	H25.3.29
登録記念物	旧伊東氏庭園（四明荘庭園）	新町二丁目	H20.7.28
登録記念物	小早川氏庭園	城内二丁目	H26.3.18
登録有形文化財　建造物	マルイチ葬祭斎場（旧小林家住宅酒蔵）	弁天町1-7118-6	H26.4.25
登録有形文化財　建造物	旧伊東家住宅（四明荘）主屋・表門	新町二丁目	H26.4.25
登録有形文化財　建造物	しまばら湧水館（旧三村家住宅）主屋・石柱門・煉瓦塀	新町二丁目122・一丁目212	H26.12.19

（2）文化事業

① 自主事業

市民に芸術性の高い優れた舞台芸術に接する機会を提供し、市民文化の向上と地域活性化につなげるための公演等を行う。

□「草野　仁トークショー」島原文化会館

□「未来の音楽授業！アキラ塾」有明総合文化会館

□「肥前しまばら子ども狂言」

５／１７（水）、６／７（水）・６／２１（水）、７／１３（木）・２６（水）

８／４（金）・３０（水）、９／１３（水）・２７（水）・１０／４（水）・１０／１１（水）

１０／１４（金）、１０／１５（土）島原城薪能出演

□　公募型自主文化事業

市民や民間企業等の知識やノウハウなどを活用し、より効果的に広く市民を対象とした文化事業をおこなう。

公募期間：平成２９年５月８日（月）から６月２３日（金）まで

実施期間：平成２９年９月上旬頃から平成３０年３月３１日（土）まで

② 教育委員会主催事業

広く市民から美術作品を公募し、市民の鑑賞と情操豊かな心を養うとともに美術活動を普及するための島原市美術展覧会を、音楽の普及向上と青少年が音楽に親しむ機会を提供するための、市民音楽祭を開催する。

□第５７回　島原市美術展覧会

出品部門－　絵画、絵手紙、デザイン、書道、写真、彫刻・工芸、陶芸の７部門（無審査）

期　　間－　平成２９年１０月４日（水）～９日（月・祝）

□第３８回　島原市民音楽祭

小・中学校の部　　平成２９年１１月１１日（土）

洋楽の部　　平成２９年１１月１２日（日）

邦楽の部　　平成２９年１１月　５日（日）

【肥前しまばら子ども狂言】



【６】図 書 館

○島原図書館

島原図書館は、総事業費 371,374,000円をもって、昭和６０年７月８日から昭和６１年３月２５日の工期で建設し、昭和６１年７月３１日に開館した。

管理・運営は、昭和６１年４月１日付で設立された(財)島原市教育文化振興事業団に委託し、平成１８年４月１日からの指定管理者制度を導入後も、(一財)島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

・平成２８年度中の利用者数は、33,865人で、貸出図書数は、153,021冊となっている。

・図書貸出用の登録者カード所持者は、島原・有明両図書館共通で平成２９年３月末現在50,360人で、登録者一人当たりの貸出冊数は、4.5冊となっている。

・主催事業は、子どもたちを対象に「おはなしひろば」9回、「おはなしのじかん」33回、「おはなしのじかん0, 1, 2」12回、一般を対象に月１回「郷土史を学ぼう会」12回を実施した。

その他、季節的な行事として、映画会（ゴールデンウィーク、夏休み等）、七夕まつり、夏休み工作教室、夏休み科学教室、図書館まつり、クリスマスおはなし会を実施し、手作り講座として布の絵本づくり、こけ玉作り、クリスマスリース作りを実施した。

また、読書感想画展には、小学生・中学生から256点の応募があった。

・ 蔵書数

一般 83,638冊、児童 31,710冊、郷土 5,175冊、計 120,523冊である。

なお、雑誌は101種、新聞11紙を備える。

・視聴覚資料数

カセットテープ 1,365本、ビデオテープ 1,444本、DVD 489本、レーザーディスク 233枚、ＣＤ 1,165枚を備える。

○有明図書館

有明図書館（愛称こんね）は、平成１１年３月に竣工した有明総合文化会館の中に設置されている。

平成１９年４月１日から（一財)島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

・平成２８年度の利用者は13,958人で、貸出冊数は72,633冊となっている。

・主催事業は、子どもたちを対象に「おはなしポケット」11回、「おはなしのじかん」を10回実施した。その他、季節的な行事として、こんねクイズ、夏休み工作教室、夏休み映画会、図書館まつり、子ども向け講座「えいごであそぼう」、大人向け講座「バッグ作り」等を実施した。

両館とも島原市のブックスタート事業や学校司書ボランティア活動、学校司書への積極的な支援協力、市内各中学校生徒の職場体験学習、教職員の社会献活動研修受入も行った。

・蔵書数

一般書51,005冊、児童書26,155冊、計77,160冊である。なお、雑誌は54誌、新聞は7紙を備える。

・視聴覚資料数

ビデオテープ 780本、DVD 254枚、ＣＤ 245枚を備える。

平成２８年度　島原図書館利用状況

	開館日数	一　般	児　童	雑　誌	そ の 他	未 登 録	公 民 館	合　計	１日当り	利用人員	１日当り
４月	25日	7,265冊	4,153冊	939冊	189冊	95冊	33冊	12,674冊	507.0冊	2,825人	113.0人
５月	25日	7,104冊	4,596冊	1,016冊	233冊	93冊	47冊	13,089冊	523.6冊	2,866人	114.6人
６月	25日	7,022冊	4,182冊	1,041冊	161冊	97冊	46冊	12,549冊	502.0冊	2,856人	114.2人
７月	26日	7,268冊	6,232冊	989冊	150冊	123冊	58冊	14,820冊	570.0冊	3,197人	123.0人
８月	25日	6,826冊	6,276冊	967冊	191冊	81冊	46冊	14,387冊	575.5冊	3,277人	131.1人
９月	25日	7,058冊	4,401冊	1,191冊	192冊	96冊	45冊	12,983冊	519.3冊	2,888人	115.5人
１０月	26日	7,403冊	4,796冊	980冊	164冊	104冊	40冊	13,487冊	518.7冊	2,949人	113.4人
１１月	24日	6,569冊	4,442冊	819冊	132冊	98冊	52冊	12,112冊	504.7冊	2,786人	116.1人
１２月	23日	6,427冊	3,895冊	874冊	148冊	92冊	44冊	11,480冊	499.1冊	2,481人	107.9人
１月	23日	7,190冊	4,119冊	963冊	173冊	118冊	32冊	12,595冊	547.6冊	2,786人	121.1人
２月	15日	5,940冊	2,923冊	721冊	144冊	94冊	17冊	9,839冊	655.9冊	2,068人	137.9人
３月	26日	7,642冊	3,922冊	1,090冊	224冊	115冊	13冊	13,006冊	500.2冊	2,886人	111.0人
合計	288日	83,714冊	53,937冊	11,590冊	2,101冊	1,206冊	473冊	153,021冊	531.3冊	33,865人	117.6人

平成２８年度　有明図書館利用状況

	開館日数	一　般	児　童	雑　誌	そ の 他	合　計	１日当り	利用人員	１日当り
４月	25日	2,604冊	2,714冊	326冊	160冊	5,804冊	232.2冊	1,116人	44.6人
５月	26日	2,893冊	3,184冊	371冊	135冊	6,583冊	253.2冊	1,168人	44.9人
６月	24日	2,622冊	3,094冊	366冊	115冊	6,197冊	258.2冊	1,145人	47.7人
７月	26日	3,196冊	3,621冊	410冊	134冊	7,361冊	283.1冊	1,438人	55.3人
８月	25日	2,810冊	3,419冊	407冊	183冊	6,819冊	272.8冊	1,409人	56.4人
９月	25日	2,799冊	2,786冊	452冊	162冊	6,199冊	248.0冊	1,187人	47.5人
１０月	26日	3,279冊	2,864冊	414冊	137冊	6,694冊	257.5冊	1,274人	49.0人
１１月	24日	2,529冊	2,428冊	337冊	90冊	5,384冊	224.3冊	1,079人	45.0人
１２月	23日	2,869冊	1,815冊	369冊	149冊	5,202冊	226.2冊	1,047人	45.5人
１月	15日	2,445冊	2,211冊	315冊	97冊	5,068冊	337.9冊	897人	59.8人
２月	23日	2,978冊	2,502冊	362冊	105冊	5,947冊	295.0冊	1,114人	48.4人
３月	25日	2,708冊	2,162冊	380冊	125冊	5,375冊	242.0冊	1,084人	49.0人
合計	287日	33,732冊	32,800冊	4,509冊	1,592冊	72,633冊	253.1冊	13,958人	48.6人

【７】文　化　会　館

島原文化会館は、総工費 513,022千円をもって、昭和４８年２月起工、昭和４９年竣工、現在に至っている。管理・運営は、昭和６１年４月１日付で設立された（財）島原市教育文化振興事業団に委託している。平成１８年４月１日から指定管理者制度を導入したが、（一財）島原市教育文化振興事業団が指定管理者として選定され管理・運営に当たっている。

鉄筋コンクリート造で、地下１階、地上２階建て。施設は、大ホール、中ホール、小ホール、展示ホールＡ・Ｂ（多目的ホール）、会議室、和室がある。音楽、演劇、講演会、舞踊、式典、展示会、その他各種集会に利用されている。

平成２９年度は島原市自主文化事業として、「草野仁トークショー」を予定している。また、引き続き、小・中学生を対象に「肥前島原子ども狂言」を開催する。５月１８日（水）から１０月１４日（金）まで１１回実施し、１０月１５日（土）に開催される島原城薪能への出演を予定している。

有明総合文化会館は、文化会館、図書館、資料館が一体となった複合施設として、総事業費 2,497,698千円をもって、平成１０年２月起工、平成１１年３月竣工、現在に至っている。

平成１９年４月１日から指定管理者制度を導入し、（一財）島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

鉄筋コンクリート一部鉄骨造りで、地下１階、地上４階建て。施設は、１階に、大ホール、リハーサル室、視聴覚室、研修室、市民ギャラリー。２階に、多目的ホール、会議室、和室、母子室。地下には、会館建設時に出土した大野原遺跡を展示した歴史資料館がある。音楽、演劇、講演会、式典、展示会その他各種集会に利用されている。

平成２９年度は、島原市自主文化事業として「未来の音楽授業！アキラ塾」を予定している。

平成28年度島原文化会館利用状況

（数字は回数：１使用者１会場を１日使用で１回として計上）

ホール別 / 使用区分	大ホール	中ホール	小ホールA	小ホールB	展示室A	展示室B	会議室	和　室	ロビー	計
基本使用	109	108	109	169	66	103	34	61	54	813
冷房使用	40	46	51	61	26	45	13	17	32	331
暖房使用	18	23	30	41	15	21	10	9	2	169
器具使用	117	87	78	79	54	90	0	16	35	556

平成28年度有明文化会館利用状況

（数字は回数：１使用者１会場を１日使用で１回として計上）

ホール別 / 使用区分	大ホール	多目的ホール	リハーサル室	楽屋	研修室	和 室	視聴覚室	会議室	市民ギャラリー	計
基 本 使 用	111	140	565	95	246	205	177	142	40	1,721
冷 房 使 用	25	57	131	14	92	67	59	37	15	497
暖 房 使 用	1	27	36	24	68	35	26	22	0	239
器 具 使 用	103	114	472	0	56	47	67	9	0	868



有明総合文化会館

【8】 島原市少年センター

（1）設置の目的

関係機関・団体との連携強化を図り、本市における少年の健全育成を期し、少年の非行を防止する。

（2）少年センターの任務

①補導業務の充実

警察の場合は、非行少年等の非行防止が主であるが、少年センターは、犯罪を犯す以前の不良少年の発見補導を主に行っている。

②相談業務の充実

③啓発活動の推進

④環境浄化の推進

⑤関係機関・団体との連携・強化

（3）少年センターの具体的業務内容

少年センターの職員及び少年補導委員による活動

1．補導業務の充実をめざす

（1）学校・地域・関係機関から、青少年の問題行動等の情報を積極的に収集し、非行等の未然防止・健全育成に努める。

（2）各地区の補導委員と一体となり、「愛の一声」や「あいさつ」運動などの効果的な補導活動の推進を図る。また、青色回転灯装備車の活用を図る。

（3）学校や地区補導委員・県警補導員との連携のもとに、溜まり場等の実態を把握し、青少年の問題行動の早期発見・未然防止に努める。

（4）商店街・学校・警察・交通安全協会等と協力して、自転車指導を推進する。

（5）不審人物等の不穏な行動には、補導委員会を中心にＰＴＡや地区健全育成会等の各種団体と連携して、児童生徒の安全確保に努める。

（6）長期休業中や各種イベント等に特別街頭補導を実施し、非行等の未然防止・健全育成に努める。

（7）補導委員幹事会・地区補導委員会を計画的に実施し、情報交換や効果的な補導業務の研修を行い、補導委員の資質の向上に努める。

（8）県補導委員研修会に積極的に参加し、本市の補導業務の活性化に生かす。

2．相談業務の充実をめざす

（1）「来所・訪問・電話等の相談業務」を広報等で機会あるごとにＰＲし、相談体制をつくる。

（2）「明るい相談室」づくりに努める。（人的・物的環境づくり）

（3）心の教室相談員・家庭児童相談員・適応指導教室相談員・主任児童民生委員等との連携を図り、いじめや不登校児童生徒等の相談に積極的に取り組む。

（4）相談の指導技術向上のための研修に努める。

3．啓発活動の推進をめざす

（1）「少年の日」（毎月１日）および「家庭の日」（毎月第３日曜日）の趣旨を広報車やセンターだより・各種会合等で積極的に広報する。また、各地区公民館に「少年の日」「家庭の日」の立て看板を設置し、市民にＰＲを図る。

（2）「少年センターだより」を発行し、小・中学校（１４校）の全世帯および関係団体・機関に配布し、青少年の健全育成・非行防止の啓発に努める。

（3）各種会合に出席し、関係団体との連携に努める。

4．環境浄化の推進をめざす

（1）立入調査権限の移譲により、少年センターがリーダーシップをとり、関係機関（警察生活安全課・県こども未来課）や、高校の少年補導委員との連携を図り、定期的に有害な図書等の環境調査を実施し、各書店・業者に環境浄化の協力を要請する。

（2）少年補導委員は、街頭巡回補導をしながら、有害な環境の実態を把握し、必要に応じて関係機関（同上）への改善を要請する。

（3）カラオケボックス等の出入りについて、各学校等の「きまり」や「申し合わせ事項」に基づいて指導を行う。

（4）白ポスト（中央公園、外港ターミナル、有明文化会館）投棄物の回収を定期的に行い、必要に応じて適切な措置をとる。

（5）公園・河川敷・駅舎等を巡回し、環境整備・美化を呼びかける。

（4）少年センター概要

・主管部局　島原市教育委員会 社会教育課

・設　　置　昭和４６年８月２日に島原市教育委員会内に設置
　　昭和５７年１１月１日に森岳公民館内に移設

・設置場所　島原市城内一丁目1177番地イの第３

・職員構成　所長１（兼任）社会教育課長、次長１（兼任）学校教育課長
　　指導監１（専任・非常勤）、相談員１（専任・非常勤）、職員５（兼任）

・平成29年度予算額　　6,379,000円

・少年センター運営協議会　　委員14名

・少年補導委員　　68名（教員24名、一般44名　内女性8名）

・計画補導　　月２回（昼夜各１回）

・特別補導　　各種年中行事や長期休業中、土曜夜市等

・自主補導　　随時・緊急時（１～３名）



島原市少年センター補導委員会



環境浄化用白ポスト（中央公園）

９ ス　ポ　ー　ツ

【1】目　　標

スポーツの振興については、社会体育関係団体との連携を密にし、指導体制の確立と体育施設の充実に努力する。特に各種スポーツ教室の開設、体力づくり運動推進など実践活動の機会の拡充を図り、生涯にわたりスポーツを通して心身の健康保持増進と明るい市民生活の向上に努める。

また、学校生活において「夢・憧れ・志」を持つことの大切さを学ぶ機会を提供し、ジュニアスポーツの活性化に努める。

（1）スポーツ推進委員

スポーツ推進委員に４１名を委嘱し、全市及び各地区のスポーツ行事・体力づくりの企画運営にあたる。

〇主な活動内容

・全市的なスポーツ行事の運営（市民体育祭等）

・地区運動会等の企画運営

・地区ソフトボール大会、バレーボール大会、ピンポン大会、駅伝大会、オリエンテーリング大会、レクリェーション大会などの開催

・地区各機関との連絡調整

（2）市民体育祭・地区運動会及び各種大会

・市民体育祭は、各種競技会と大運動会を開催する。

・地区運動会は、町内会、自治会、青年団、スポーツ推進委員、公民館が中心となり、安中、杉谷、三会、有明の４地区で盛大に開催される。

また、各種大会は、ソフトボール大会、バレーボール大会等が各地区で開催される。

（3）スポーツ教室及び各種大会

子どもから高齢者までを対象としたスポーツ教室及び各種大会が、体育協会、スポーツ推進委員の指導により開催され、地域の仲間づくり、健康・体力づくりに寄与し、基本的な技術を習得させると共に愛好者の拡大、競技人口の底辺拡大が図られる。

・スポーツ教室

サッカー、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、テニス、弓道、体操、水泳など

・各種大会

教育委員会主催が８大会、体育協会加盟団体主催等を含めると年間２００回程度の各種競技大会が市内で開催されている。

（４）夢の教室及びジュニアスポーツ振興事業

子ども達が将来に向かって「夢・憧れ・志」を育む機会を提供し、活性化に努める。

・夢の教室

全小学校の５年生を対象に日本サッカー協会が派遣する「夢先生（現役アスリート等）」を招へいし、「夢をもつことの大切さ」を学ぶなど子どもの情操教育に努める。




・ジュニアスポーツ振興事業

小中学生２０名を日本体育大学に派遣し、オリンピアンなどのトップレベルの指導者から講義や実技指導を受け、児童の意識の高揚を図り、更なるスポーツの振興や競技力の向上に努める。






【2】島原市体育施設利用状況（平成28年度分）

施設名	内容		延人員	備考
島原市霊丘公園体育館・弓道場	体育館		37,790	バレーボール・卓球・バドミントン・体操等
	弓道場		10,940	
霊丘公園運動広場			50,855	ソフトボール・ゲートボール
	夜間照明施設		493	サッカー・グラウンドゴルフ
島原市立有馬武道館			11,842	空手・剣道・柔道・レスリング
島原市立温水プール			20,035	
島原市営球場			3,640	野球・レクレーション・遠足等
島原市営陸上競技場			39,709	
島原市営庭球場	霊丘公園		6,840	
		夜間	2,205	
	総合運動公園		29,181	
		夜間	9,046	
島原市立屋内相撲場			223	
霊丘公園相撲場（屋外）			0	
島原市立第二中学校	夜間照明施設		346	ソフトボール・野球・サッカー等
島原市営杉谷運動広場			290	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
島原市営安中運動広場			19,045	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
島原市営三会ふれあい運動広場			10,922	ソフトボール・野球・サッカー・ゲートボール・遠足等
島原市立れいなん会館			13,296	
島原復興アリーナ			174,241	バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球
平成町多目的広場			61,494	サッカー・ラクビー・グラウンドゴルフ・遠足等
有明プール			28,856	
有明体育館			18,433	バレーボール・バドミントン・卓球
有明弓道場			464	
有明青少年武道館			10,701	空手・剣道・柔道・レスリング
島原市有明の森運動公園			17,386	ソフトボール・野球・サッカー等
	夜間照明施設		2,903	
有明大野浜運動場			17,914	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
平成町人工芝グラウンド			108,028	サッカー・ラクビー・グラウンドゴルフ・遠足等
計			707,118	

【3】島原市スポーツ少年団（平成29年度）

	団数	団員数（地区別）							全域	合計
		森岳	霊丘	白山	杉谷	安中	三会	有明		
サッカー	9	26	19	21	15	21	25	26	75	228
バレーボール	13	11	19	29	26	24	16	56		181
バスケットボール	5	17	25					33		75
ソフトボール	13	14	31	15	10	16	37	53	19	195
レスリング	2							26	28	54
剣道	2							34	11	45
空手	2							51	24	75
ラグビー	1								63	63
柔道	1								10	10
軟式野球	1							6		6
計	49	68	94	65	51	61	78	285	230	932

１０　一般財団法人島原市教育文化振興事業団

【１】設立目的

この法人は、島原市の指定及び委託を受けて、島原市が設置する教育文化施設等の管理・運営を行い、もって島原市の教育と文化の発展及び社会における非営利セクターの役割の向上に寄与することを目的とする。

昭和６１年４月１日設立
平成２５年４月１日改組
基本財産　　１千万円
理事定数　　３名以上　１０名以内
監事定数　　２名以上　　３名以内
評議員定数　３名以上　　７名以内

【２】受託事業等

昭和６１年４月１日	島原図書館の管理運営
昭和６２年４月１日	島原文化会館の管理運営
〃	島原市が設置する体育施設の管理運営（体育館、武道館、温水プール、弓道場）
平成　９年４月１日	島原市が設置する体育施設の管理運営（陸上競技場、市営球場、庭球場）
平成１１年４月１日	学校給食調理業務
平成１１年６月８日	島原勤労者総合福祉センターの管理運営
平成１２年８月１日	島原復興アリーナの管理運営
平成１３年４月１日	島原市立屋内相撲場の管理運営
平成１５年４月１日	島原市営平成町多目的広場の管理運営
平成１８年４月１日	島原文化会館、島原図書館、島原市体育館、島原市営陸上競技場、島原復興アリーナの指定管理者の指定を受ける
平成１９年４月１日	有明文化会館、有明図書館の指定管理者の指定を受ける 有明学校給食センター調理業務
平成２１年４月１日	島原文化会館、島原・有明図書館、島原市体育館他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成２２年４月１日	有明文化会館の指定管理者の指定を受ける
平成２５年４月１日	一般財団法人へ移行 有明文化会館の指定管理者の指定を受ける。
平成２６年４月１日	島原文化会館、島原・有明図書館、島原市霊丘公園体育館・弓道場他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成２９年４月１日	島原文化会館、島原市霊丘公園体育館・弓道場他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける

【３】運営経費　運営に要する経費は、島原市から補助金、委託料及び指定管理料として交付される。

（平成２９年度）

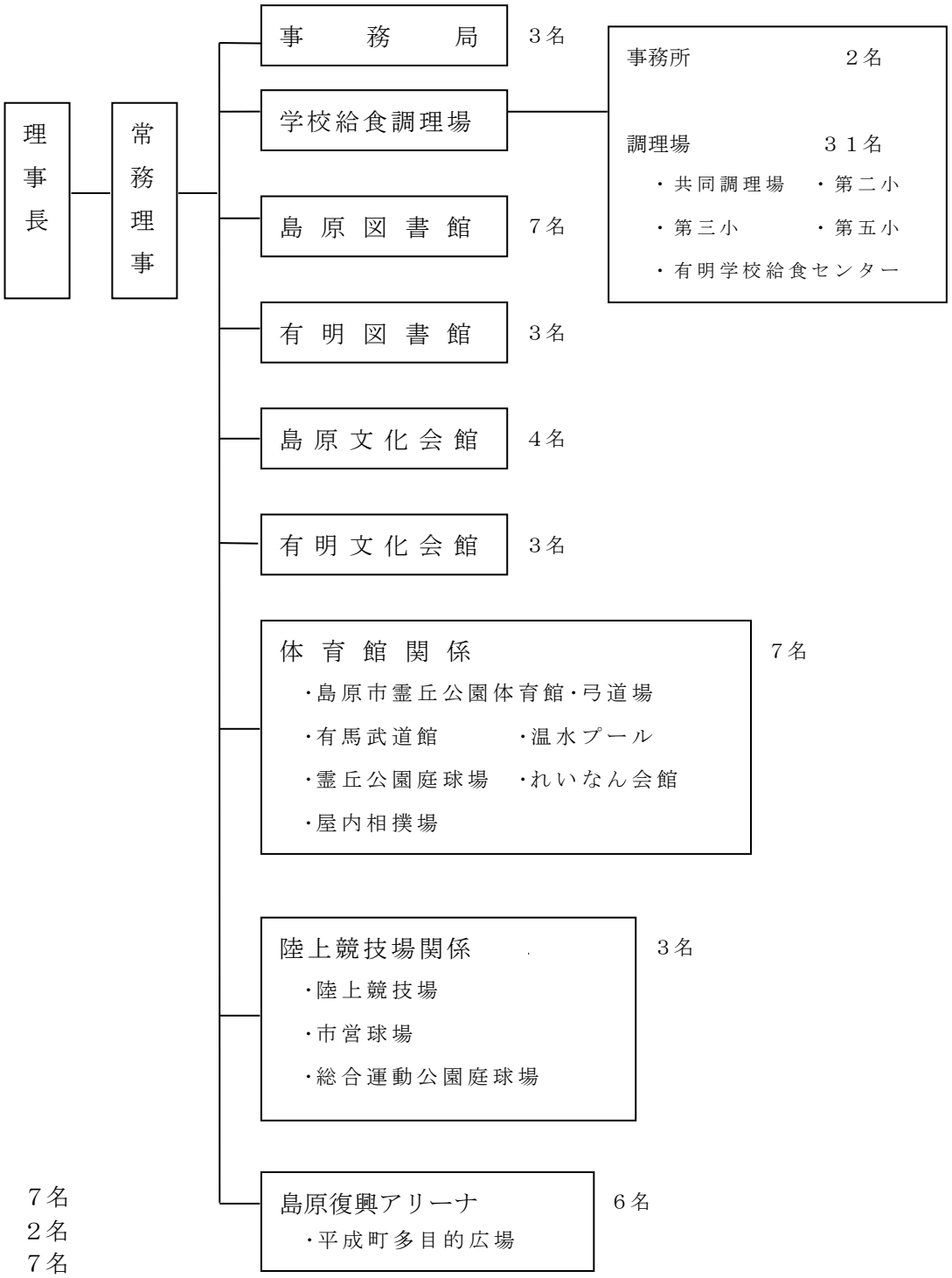
運営費補助金	16,168,000円
図書館指定管理料	55,879,000円
島原文化会館指定管理料	32,543,000円
有明総合文化会館指定管理料	30,488,000円
霊丘公園体育館・弓道場他指定管理料	40,280,000円
陸上競技場他設指定管理料	12,205,000円
学校給食業務委託料	116,790,000円
島原復興アリーナ他指定管理料	43,754,000円
（合　計）	348,107,000円

【4】職　員

事務局	３名	島原図書館	７名
有明図書館	３名	島原文化会館	４名
有明文化会館	３名	島原市体育館・弓道場	７名
陸上競技場	３名	学校給食調理場	３３名
島原復興アリーナ	６名	（合　計）	（６９名）

一般財団法人　島原市教育文化振興事業団　組織図　（平成２９年４月１日現在）

所 在 地　　島原市有明町大三東戊１４３８番地１　〒８５９－１４１５
電話番号　　０９５７－６８－５１３３



役員
理　事　７名
監　事　２名
評議員　７名

「生命（いのち）・きずな・感謝の心」を大切に

進んで
元気な
あいさつを！

島原市教育委員会

島原半島
ジオパーク